

令和4年度 公開研究会

「生徒の自立と社会参加を目指した教育の充実へ」

～開校10周年 横浜わかば学園の軌跡～

横浜市立若葉台特別支援学校（横浜わかば学園）



目次

- 目次 P1
- 全体会① P2~P14
 - ◇ 校長挨拶・学校案内・公開研究会内容案内
- 公開授業① P15~P20
- 昼食 P21
- 公開授業② P22~P24
 - ◇ ポスターセッション (2年生)
 - ◇ 「キャリアデザイン相談会 (3年生)
- 全体会② P25~51
 - ◇ 実践報告
 - ◇ 菊地先生講演資料
- 研究概要 P55~58
 - ◇ 研究報告



全体会①

9:30~9:50



校長挨拶
学校案内
公開研究会内容案内
体育館



公開研究会に参加の皆様

若葉台特別支援学校
（横浜わかば学園）によろこそ！

開校10周年



「学校づくり」について

【学校教育目標】

- (1) 一人ひとりを大切にする
- (2) 地域とともに歩む
- (3) 自立と社会参加

【特徴】

- (4) 肢知併置の交流及び共同学習



2022年5月1日

肢体不自由教育（A部門）	合計人数
A I・A II（小学部1、2学年）	16名
B I・B II（小学部3・4学年）	11名
C I・C II（小学部5、6学年）	16名
中学部 I・II・III	21名
高等部	19名

知的障害教育（B部門）	合計人数
高等部1年（1～3組）	29名
2年（1～3組）	25名
3年（1～3組）	28名



横浜わかば学園 校歌

- 1 桜並木ぬけて 一步踏み出す
今日も友と出会い 笑顔の花咲く
ふたつの枝広げ ひとつの大樹
しなやかに伸びゆく みんなの若葉台
- 2 金の銀杏並木 揺れて囁く
同じ時を刻み 思いを重ねる
ひとりひとりの実が 輝く大樹
美しく色づく みんなの若葉台
- 3 遙か空に向かい 翼広げて
未来見つめてゆく 希望のまなざし
花の蕾抱いて ふくらむ大樹
大きく羽ばたく みんなの若葉台



「学校づくり」について

3つの学校教育目標と肢知併置



(1) 一人ひとりを大切にする教育とは

- 寄り添い徹底的に大切にする教育
- 信頼してもらえるようにしていく教育
- 個別的な配慮、合理的な配慮をしっかりとっていく教育



(1) 一人ひとりを大切にする教育とは

A部門

- ① Sバスチェック乗車やシートフィッティング
- ② 保護者との協働による生命や体力の維持・増進
- ③ 宿泊時の個別タイムテーブルと不寝番

B部門

- ① 校内実習の確保（若葉台地区でも）
- ② 現場実習（校外実習）の確保
- ③ キャリアデザイン相談会（通算8回）



A部門（肢体不自由教育部門）



キャリアデザイン 相談会



(2) 地域とともに歩む

- 若葉台がもう一つの教室
- 地域とWIN-WINの関係を作り出していく
- 学校に気軽に来てもらおう



(2) 地域とともに歩む

- ウェルカムで準備をしてくださった地域
- 学校運営協議会は開校翌年に設置
- A部門の近隣散策や買い物学習で、ふれあい
- B部門の校内実習のサテライト教室として、初めての校外実習の場として



A部門

散歩、買い物

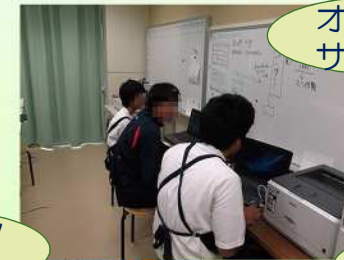


授業に招く



B部門

オフィス
サポート



ビルメン
テナンス



パン工房





営業許可書



菓子製造業



軽飲食



地域散策 4月当初



花火鑑賞会 7月下旬



合同防災訓練 9月中旬



若葉台文化祭 11月上旬



「餅つき」12月



若葉台駅伝 2月中旬

若葉台地域での初の実習(1年生) 10月



(3) 自立と社会参加を目指す

- 卒業して就職すること
- 働き続けること
- 精神的な自立も含めて「自立」を目指す学校
- 社会人になるための移行支援の学校としての役割



(3) 自立と社会参加を目指す

【A部門】

自立＝もてる力を最大限発揮すること

社会参加＝地域社会・世界に出て行くこと

外部講師によってできる社会参加

【B部門】

自立＝金銭的な、家庭からの自立

社会参加＝地域社会・世界に出て行くこと

校内実習を通しての参加



(4) 肢知併置の効果

- 互いの異なる障害を見合い、認め合い、ふれあうことにより、

何よりも「やさしさ」をもてる子が育っている。



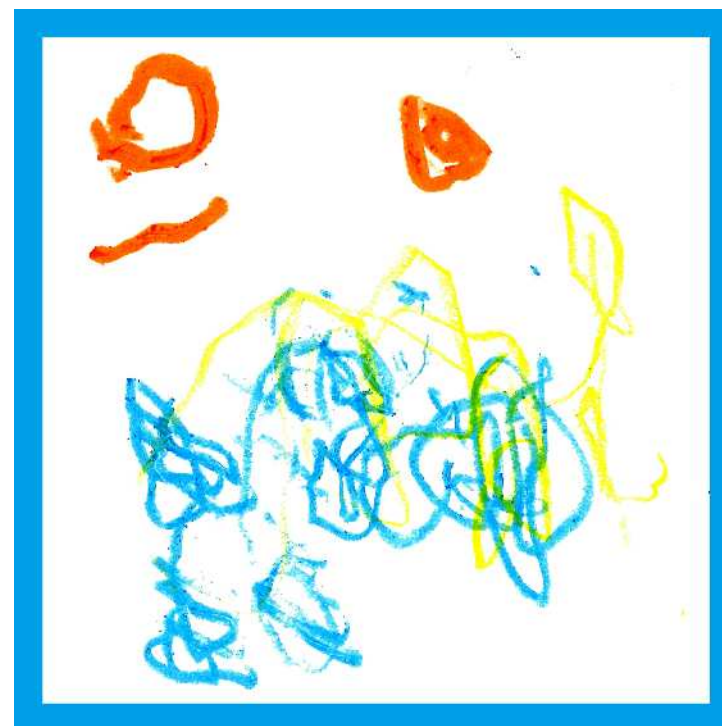
運動会



A部門の授業にB部門の生徒が参加



B部門の授業にA部門の生徒が参加



公開研究会内容説明



お願い

- ごみは持ち帰りください。
- 貴重品の管理は各自でお願いいたします。
- グレー部分（A部門）は立ち入り禁止です。
（感染症対策にご協力ください）
- ご不明なことがありましたら、案内係りの生徒・教員にお聞きください。
- パン、飲み物は「カフェわかば」をご利用ください。
営業時間…10：00～13：30
- 書籍販売を「体育館内」にて行っています。ぜひご利用ください。



公開授業① 9:55~12:40

ぜひ、生徒に質問してください。

•キーワードは

「何をしているの」

「何の為にしているの」

「なぜそう思うの」

など

•答えてくれたら

その答えを肯定
していただけると
助かります。



公開授業① 9:55~12:40

◆一般教科

●授業中ですが、生徒に声をかけても構いません。

◆校内実習

●OS・ビルメン

…作業中に生徒に直接聞いてみてください

●パン・カフェわかば

…工房内には入れないので、ベランダからご覧ください。

パンを運んでいる生徒がいるので質問はその生徒にお願いします。



校内研究概要

「生徒のキャリアデザインを生かした
主体的で対話的な深い学びを
目指した授業づくり」

～わかば学園らしい社会に開かれた教育課程の編成へ～

- 校内研究を研修会議室で公開しています。
- 自由に見学できるのでご覧ください。
- 併せてロイロノートを使った取り組みも公開しているので、ぜひ入力してください。



メモ

公開授業② 13:25~14:15

◆2年生

ポスターセッション

“自分が成長した瞬間”

◆3年生

「キャリアデザイン相談会」

“参加者の悩み聞きます”



公開授業②

◆2年生

- 冊子の中にタイトルが書いてあります。興味のあるものを聞いてください。
- 生徒には発表5分・質疑5分と伝えてあります。



公開授業②

◆3年生

- 普段生徒が行っている「キャリアデザイン相談会」(個別相談)を生徒が相談される側で行います。
- 別紙、相談用シートを使って相談してください。
- どんな悩みでも構いません。真剣に答えてくれます。
- ちなみに…守秘義務は守ります。



メモ

相談シートの使い方

公開授業
①の時や
昼休みに
記入

普段は相
談会終了
後CC・
CGで、
アドバイ
スと目標
をここに
記入

2020年2月7日 (金)

公開研究会 (キャリアデザイン) / 相談会 / 相談シート / CC-CG1-

自分のほかの公開研究会で実施すること公開研究会で良かったことを記入してください。
記入欄 (必ず番号を付けて記入しよう) 一人のことなら目-1・目-2など

キャリアデザイン相談会で得たアドバイス

助言番号 助言書 順位

学年	月	日	相談内容	相談日時	担任

公開授業
②の時に
相談の回
答を記入。
もしかし
たら生徒
が記入し
てくれる
かも

自分に
とって必
要なアド
バイスの
順位をつ
ける。





公開授業①

9:55~12:40

校内実習			一般教科			
時程	教科	場所	時程	学年	教科	場所
9:55~ 12:40	オフィスサポート	2-1 情報印刷室	9:55~ 10:45	1	美術	美術室
				2	数学	1-2
				3	家庭	調理室
	ビルメンテナンス	多目的ホール 階段、廊下など	10:55~ 11:45	1	音楽	音楽室
				2	家庭	調理室
				3	数学	1-2
	パン工房	パン工房 カフェわかば	11:50~ 12:40	1	社会	1-2
				2	家庭	調理室
				3	音楽	音楽室



2月 公開研究会 一般教科2校時授業内容（1年美術・2年数学・3年家庭）9:55～10:45

教科	1年 美術	2年 数学	3年 家庭科
授業場所	美術室	1年2組	調理室
授業者	肥後・渡部・上田	渡邊・二宮	柏原・工藤・渡部
教科の目標	①造形的な視点について理解し、創造的に表現することができるようにする ②造形的なよさや美しさなどについて考え、豊かに発想したり美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めることができるようにする ③創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養う	①生活に必要な数量や図形などについて数学的に表現・処理する技能を身に付ける ②生活の中でみられる数学的な出来事に対して、筋道を立てて考察し、数学的に表現する力を身に付ける ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける	①家庭・学校の役割について考え、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身につけるようにする ②家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う ③家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活も実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度
本時のねらい	○フェナキストスコープの仕組みについて理解し、オリジナルのパラパラ漫画を作成する ○様々な見本や他者の作品から良さやアイデアを見つけ、自分の作品づくりをする ○作品作りの楽しさを味わい、自分の思いや個性を作品に生かそうとする	○後期期末試験にむけて、学習内容をふり返る ○予想問題にチャレンジし、解答・解説を確認することで、理解を深める ○日常にある数学的事象をどんな風に見ることができるか、どんな風に考えることができるか、数学の見方・考え方を働かせる	○初歩的な調理の技法を身に付け、準備、調理、後片付けの一連の内容を学習する。 ○レシピを見て、自分で調理を実践し知識、技能の経験値をあげる。 ○衛生や安全に心掛け、協力して効率よく、調理を行う。 ○食品や食材の持ち味、栄養、調理性、衛生面を十分理解し、基本となる調理法を学ぶ。
生徒の活動とそのねらい	導入	○計算パズル行う	○挨拶、出欠確認 ○調理ができる身支度、手を洗い。 ○調理実習の準備をする（調理台、道具、食器などを整えたり、揃えたりする。それぞれアルコール散布や水洗いなどを行う）。 ○レシピなどを確認しながら進める。
	展開	○予想問題の解答、解説を確認する ・四則計算（小数点とカンマの違い） ・速さの表し方、単位の変換（アトラクションの速さ） ・速さ、時間、距離の求め方（修学旅行問題、相鉄線VS競走馬） ・ピザを○人分にカット ・お金、割り勘	○レシピを見ながら、一斉に説明を聞く。 ○レシピに沿って、調理実習を行う。 ・準備した道具を選ぶ。調味料を正確に計測する。食材を準備して、調理する。 ・レシピなどを見て考えたり、見直したりする。わからないことは自ら質問や確認して作業を進める。 ・一人ではできないときや不安なときは協力して作業を進める。 ・自分のことはできるだけ、自ら行う。
	まとめ	○次回の後期期末試験にむけて、持ち物等を確認する	○後片付けを行う。 ・調理道具、調理台やコンロやシンクをきれいにする。 ○レシピを一斉に確認して、振り返りをする。 ○ごみ捨て、分別する。 ・布巾や台拭きを洗濯し、干す。 ・調理の振り返りの用紙を記入し、提出する。

2月 公開研究会 一般教科3校時授業内容（1年音楽・2年家庭・3年数学）10:55～11:45

教科	1年 音楽	2年 家庭	3年 数学
授業場所	音楽室	調理室	1年2組
授業者	桐生・本郷	上田・肥後・井口	二宮・渡邊
教科の目標	①多様な音楽に親しみ、それらの曲がもつ特徴を理解するとともに、他者と合わせて歌ったり、演奏したりするために必要な技術を身につける ②思いや意図をもとに自分たちで音楽表現を工夫するとともに、音楽に対する自分なりのイメージをもちながら音楽を味わって聴く ③仲間とともに音楽活動に取り組むことの大切さを味わう。音楽によって前向きに生活する姿勢をもつ	①家庭・学校の役割について考え、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住についての基礎的な理解を函るとともに、それらに係る技術を身につけるようにする ②家族や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う ③家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活も実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う	①生活に必要な数量や図形などについて数学的に表現・処理する技能を身に付ける ②生活の中でみられる数学的な出来事に対して、筋道を立てて考察し、数学的に表現する力を身に付ける ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける
本時のねらい	合唱「水平線」「ぜんぶ」 ○周りの声やピアノの音を聞きながら、正しい音程やリズムで歌う。 ○自分たちの歌唱をふり返り、できているところ、練習が必要なところを考える。 ○仲間と共に合唱に取り組むことの楽しさを味わうとともに、よい合唱を発表するという目的をもち、粘り強く取り組む。	○豚汁の調理実習を通して、知識・技能を身につける。 ○衛生や安全に心がけ、協力して効率よく、調理を行う。	3年間を振り返り、人はなぜ「学ぶのか」を考え、いろいろな意見や考えを共有し、学びの大切さを知る
生徒の活動とそのねらい	導入 ○出欠確認 ○本時の内容確認：合唱練習 ○卒業式に向けて、「誰に向けて」「どんな気持ちで」歌えるように練習していくかを共有する。	調理ができる身支度をし、手を洗う。 道具を準備し、2人分の食材を揃える。 教員のお手本を見る。	○社会人になると授業を受けることはなくなる →社会人になれば「学び」は必要ないのか 人はなぜ「学ぶ」のか
	展開 ○合唱練習 ①合唱で大切なポイントをふり返り、共有する。 ②パートごとに順に練習する。他パートの練習にも耳を傾ける。 ③できているところ、練習が必要なところを考え、練習をくり返す。 ④パートを合わせて合唱する。 ⑤できているところ、練習が必要なところを考え、練習をくり返す。 ※②～⑤を進捗に応じてくり返す。 ※できているところや練習が必要なところについて、MTが指摘をしたり、「ここはどうか」と声をかけたりすることで、生徒の気づきを促す。	作り方の手順の用紙を見て、協力して調理を行う。	パワーポイントを見ながら、社会人になっても、なぜ学びが必要なのかを考え、生徒の意見を引き出ししながら、学びの大切さを共有する。 いろいろな生徒のいろいろな考えに触れる ○宮本パズル（3年間継続） ○青山メソッド ○わかば学園キャリア教育 →3つの共通点について考える keyword：「主体的」
	まとめ ○本時でよくなったところを共有する。 ○次時以降の予定を確認し、卒業式に向けて意欲を高める。	○出来上がったマカロニグラタンを食し、後片付けを行う。 ・調理台やコンロやシンクをきれいにする。 ・生ごみなどのごみを片付ける。 ・布巾や台拭きを洗濯する。 ○振り返りの用紙を記入し、教員に提出する。	主体的「学び」が自分自身を成長へ導くこと、「学びたい」思いが学びを深めることに気づく

2月 公開研究会 一般教科4校時授業内容（1年社会・2年家庭・3年音楽）11:50～12:40

教科	1年 社会	2年 家庭	3年 音楽	
授業場所	1-3教室	調理室	音楽室	
授業者	工藤・二宮	上田・肥後・井口	本郷・桐生	
教科の目標	<p>①地域や我が国の国土の地理的環境、歴史や伝統的文化および外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。〔知識及び技能〕</p> <p>②社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する。〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>③社会的事象に興味関心をもって主体的に課題に取り組んだり、学習したことを社会生活に活かそうとしたりする。〔学びに向かう力等〕</p>	<p>①家庭・学校の役割について考え、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身につけるようにする</p> <p>②家族や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う</p> <p>③家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活も実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う</p>	<p>①多様な音楽に親しみ、それらの曲がもつ特徴を理解するとともに、他者と合わせて歌ったり、演奏したりするために必要な技術を身につける</p> <p>②思いや意図をもとに自分たちで音楽表現を工夫するとともに、音楽に対する自分なりのイメージをもちながら音楽を味わって聴く</p> <p>③仲間とともに音楽活動に取り組むことの大切さを味わう。音楽によって前向きに生活する姿勢をもつ</p>	
本日の授業のねらい	<p>○来週実施する後期末テスト前最後の授業である。プリントと地図帳を使用して、テスト範囲の北海道～九州・沖縄地各地方の確認をする。</p> <p>①各地方の地理的環境と特色については前日の授業で確認しているので、本日の授業では都道府県と県庁所在地名および位置を確認する。</p> <p>②日本国内の世界遺産を復習する。</p> <p>○学習したプリント〔No.15～33〕とパワーポイントを使用しながら復習する。</p>	<p>○豚汁の調理実習を通して、知識・技能を身につける。</p> <p>○衛生や安全に心掛け、協力して効率よく、調理を行う。</p>	<p>合唱「水平線」「ぜんぶ」</p> <p>○周りの声やピアノの音を聞きながら、正しい音程やリズムで歌う。</p> <p>○自分たちの歌唱をふり返り、できているところ、練習が必要なところを考える。</p> <p>○仲間と共に合唱に取り組むことの楽しさを味わうとともに、よい合唱を発表するという目的をもち、粘り強く取り組む。</p>	
生徒の活動とそのねらい	導入	<p>○出欠確認</p> <p>※1人ずつ呼名をし、始まりの生徒の様子を確認する。</p> <p>※プリント・地図帳を持参していることを確認する。</p> <p>○本時の授業内容を伝える。</p>	<p>○調理ができる身支度をし、手を洗う。</p> <p>○道具を準備し、2人分の食材を揃える。</p> <p>○教員のお手本を見る。</p>	<p>○出欠確認</p> <p>○本時の内容確認：合唱練習</p> <p>○卒業式に向けて、「誰に向けて」「どんな気持ちで」歌えるように練習していくかを共有する。</p>
	展開	<p>既に学習したプリントを、パワーポイントを併用しながら確認する。</p> <p>○地図帳を使用して確認する。</p> <p>①関東地方 地図帳P30～31</p> <p>②中部地方 地図帳P32～33</p> <p>③東北地方 地図帳P28～29</p> <p>④近畿地方 地図帳P34～35</p> <p>⑤中国・四国地方 地図帳P36～39</p> <p>⑥九州・沖縄地方 地図帳P40～41</p> <p>⑦北海道地方 地図帳P26～27</p> <p>○全国47都道府県・県庁所在地名を復習確認する。</p> <p>※難しい漢字や読み方があるので注意する。</p> <p>○日本国内にある世界遺産を復習する。</p>	<p>作り方の手順の用紙を見て、協力して調理を行う。</p>	<p>○合唱練習</p> <p>①合唱で大切なポイントをふり返り、共有する。</p> <p>②パートごとに順に練習する。</p> <p>他パートの練習にも耳を傾ける。</p> <p>③できているところ、練習が必要なところを考え、練習をくり返す。</p> <p>④パートを合わせて合唱する。</p> <p>⑤できているところ、練習が必要なところを考え、練習をくり返す。</p> <p>※②～⑤を進捗に応じてくり返す。</p> <p>※できているところや練習が必要なところについて、MTが指摘をしたり、「ここはどうか」と声をかけたりすることで、生徒の気づきを促す。</p>
	まとめ	<p>○パワーポイントや歌詞カード〔都道府県替え歌〕等も使用する。</p> <p>○後期末テストについて確認する。</p> <p>○テスト後の授業予定を伝える。</p>	<p>○出来上がったマカロニグラタンを食し、後片付けを行う。</p> <p>○調理台やコンロやシンクをきれいにする。</p> <p>○生ごみなどのごみを片付ける。</p> <p>○布巾や台拭きを洗濯する。</p> <p>○振り返りの用紙を記入し、教員に提出する。</p>	<p>○本時でよくなったところを共有する。</p> <p>○次時以降の予定を確認し、卒業式に向けて意欲を高める。</p>

本日の見どころシート(公開授業①9:50~11:45)

授業場所	情報印刷室・B部門2-1、2-2教室・正門	【1年】多目的ホール【2年】3階廊下・階段・各室／【3年】校内案内			パン工房	販売場所
授業者	桑田・齋藤・高橋・西山	【1年】花房・伊原【2年】西城【3年】大野			松本 仙宅 永沼 高橋	
作業種	オフィスサポートコース	ビルメンテナンス			パン工房	カフェわかば
目標(学年目標など)	<p>【オフィスサポートコース心得】 ・自分から動いて仕事をします ・仕事には最後まで責任をもちます</p> <p>【1年生】 ◎働く姿勢を身に付ける(チームでの軽作業中心) ⇒あいさつや報連相など、職場で働く上で必要な力を身に付ける</p> <p>【2年生】 ◎任された仕事を1人で行う ⇒自分から動いて作業や質問、報告、相談などを行う ⇒責任をもって任された仕事を終わらせる(ABグループの引継ぎも)</p> <p>【3年生】 ◎広い視野で臨機応変に対応ができる ⇒自分の仕事だけでなく周囲へのサポートや気遣いができる ⇒突然の注文に対応する ⇒初めての仕事に対してこれまでの経験を汎化させる</p>	<p>1年生</p> <p>①基本技術の習得 ②コミュニケーション能力の向上 (同級生とのコミュニケーション→チームでのコミュニケーション) ③他者を意識した活動(日替わりリーダー制でのチーム活動)</p> <p>2年生</p> <p>①基本技術のレベルアップ ②コミュニケーション能力の向上 (上級生・下級生とのコミュニケーション→同級生とのコミュニケーション→チームでのコミュニケーション) ③課題解決能力の向上</p> <p>3年生</p> <p>コミュニケーション能力の向上 (下級生・同級生とのコミュニケーション→チームでのコミュニケーション→プレゼンカ・お客様への対応力を身に付ける)</p>	<p>○全体として 仕事に臨む意識を育てる環境づくり 身の丈に合った報告・連絡・相談ができる</p> <p>○個人の課題として コミュニケーション能力の向上 個々の仕事をやりきる経験から得られる自信</p> <p>○パン工房のチームとして 役割を果たすこととそこから得られる達成感</p>	<p>●明確にねらいをもった生徒の配置をする</p> <p>●先回りした指示を出さない</p> <p>●パン工房は職場という意識で生徒たちと接する</p> <p>●生徒に指導した結果、改善された</p>		
	作業内で行っている作業種との大体の	<p>【朝礼】 9:00~(2-1教室) ・あいさつ練習(日直) ・作業終了時刻の確認(庶務) ・作業分担(教員) ・オフィスサポートコース心得復唱 ⇒ビジネスの場を意識したあいさつ練習により気持ちを切り替えることができたか</p> <p>【共同軽作業】 9:10(玄関) ・仕事受け取り 9:20~(2-2教室) ・ミーティング ・作業準備 ⇒指示を確実に理解し全員で本時の目標を設定し共有することができたか(1年)</p>	<p>【1年生】 9:00-9:15 身だしなみチェック タオルたたみ ⇒作業に向けて気持ちの切り替え・準備。</p> <p>【2年生】 9:20-9:30 朝礼(予定の確認) ⇒1日の活動をイメージしながら話を聞く。 ⇒必要な情報を選び、メモをとる。</p>	<p>【2年生】 9:00-9:15 身だしなみチェック タオルたたみ ⇒作業に向けて気持ちの切り替え・準備。</p> <p>【3年生】 9:20-9:50 朝礼(予定の確認) ⇒今日の清掃箇所を生徒が決める。 ⇒清掃に必要な道具・個数を考え、効率よく準備する。</p>	<p>【3年生】 9:00-9:15 身だしなみチェック タオルたたみ ⇒作業に向けて気持ちの切り替え・準備。</p> <p>【3年生】 9:15-9:25 朝礼(予定の確認) ⇒1日の活動をイメージしながら話を聞く。 ⇒必要な情報を選び、メモをとる。</p>	<p>8:55~ 身支度・手洗い ⇒前室からの雰囲気づくり ⇒最初からトップギアの感覚で動けるか</p> <p>今日ののための準備 ・トッピング ・焼成 ・成形 ・食パン、お菓子出荷準備</p> <p>出荷準備 ・袋詰め ・シール貼り ・ハンドラベラー(値段・消費期限)</p>

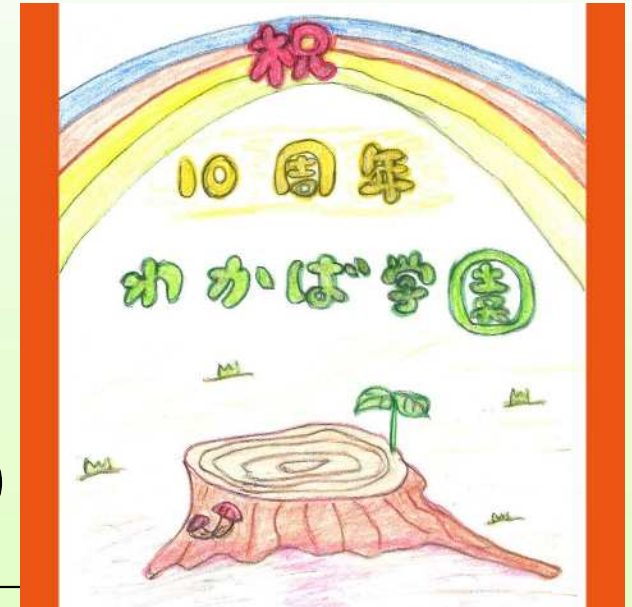
時間、キャリア教育的な狙いを記入してください)	公開授業 (9:55~11:45)	<p>【共同軽作業】 9:40~(2-2教室) ※当日の朝に仕事内容が分かる</p> <p>⇒チームで連携して仕事に応じたやり方を工夫することができたか(1年)</p> <p>⇒分からないことを発信し、互いに考えながら行動することができたか(1年)</p>	<p>【通常業務】 9:25~(情報印刷室、2-1教室) ≪定型業務≫ ・パン工房関係 ・名刺 ・日めくりカレンダー 等 ≪外注業務≫ ※受注内容による ・顧客との連絡 (メール・電話・接客等) ⇒定型業務に対し教員に頼ることなく1人で取り組むことができたか(2年) ⇒今までの作業で学んだ技術を生かして外注業務に取り組むことができたか(3年)</p>	<p>9:30-9:50 後期期末試験に向けた練習に必要な道具を考える。 ⇒清掃練習に必要な道具とその個数等を考え、自分たちで準備する。 ⇒分からないことを解</p> <p>9:55-10:30 準備した道具を設置する。</p>	9:55-12:00 清掃を行う。 ⇒通られるお客様に配慮しながら清掃を進める。	9:25-9:50 生徒のみのミーティング ⇒誰がどの位置に立って案内するか、お客様をご案内するための言葉遣い等を再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントシール貼り、商品陳列 ・出荷表確認 <p>⇒時間意識をもち、チーム一丸となって働く意識をもつ</p> <p>⇒報告と確認を徹底する</p> <p>⇒最後まで丁寧に確実に行う</p> <p>⇒生徒同士のコミュニケーション</p> <p>⇒自分から積極的に仕事を求める</p> <p>【3年生】自分に任された仕事を確実にに行いつつ、下級生に仕事を伝授する</p> <p>【2年生】自分の任された仕事を確実にに行い、確認と報告を意識、徹底すること</p> <p>【1年生】自分の仕事の確認と報告を意識、徹底すること</p>	10:00~ カフェ開店					
		<p>【共同軽作業】 10:40(2-2教室) ・中間報告 ・休憩</p> <p>⇒中間での進捗状況を把握しペースアップしたりヘルプを出したりなどの対応ができたか(1年)</p>	<p>【通常業務】 ※前半作業と同様 ※休憩は各自でとる</p> <p>⇒教員に質問する前に解決方法がないか模索することができたか(マニュアルを見る、仲間に相談する など)(2、3年生) ⇒納期を意識し見通しをもって作業に取り組むことができたか(2、3年生)</p>	<p>10:30-12:00 試験実技練習 ⇒繰り返し練習する中で、うまくできないところやわからないことは自分から質問する。</p>					12:00-12:20 1・2年生の道具の片づけ ⇒仲間と協力して道具の片づけを行う。 ⇒仲間と協力して道具の片づけを行う。 ⇒仲間と協力して道具の片づけを行う。	12:10- 片づけ・ふり返り ⇒仲間と協力して道具の片づけを行う。 ⇒ふり返りで自分の課題や良かったところを知る。 ⇒ふり返りで自分の課題や良かったところを知る。 ⇒ふり返りを通して、良かったところや課題をメモしたり、発表したりする。	12:20- ふり返り ⇒ふり返りを通して、自分の良かったところや課題をまとめ、仲間と共有する。(申し送り)	<ul style="list-style-type: none"> ・洗い物 ・天板掃除 ・シール収納 ・検食 <p>⇒任された仕事をしっかりとやる (仕事は選べない)</p>	引き続き実施
		<p>【共同軽作業】 11:45~(2-2教室) ・出来高の確認 ・納品準備</p> <p>12:00(正面玄関) ・納品(作業報告) ・片づけ ・ふり返り ⇒自分たちで改善提案ができ次回の目標設定ができたか(1年)</p>	<p>【通常業務】 12:10~(情報印刷室、2-1教室) ・作業終了 ・片づけ ・清掃 ・引き継ぎ書記入 ⇒本時の作業がどこまでできたか、次回は何かから始めればよいのかを整理して、誰にでも伝わるような内容で引き継ぎ書に記入することができたか(2、3年生)</p>	<p>12:00- 片づけ・ふり返り ⇒仲間と協力して道具の片づけを行う。 ⇒ふり返りで自分の課題や良かったところを知る。 ⇒ふり返りを通して、良かったところや課題をメモしたり、発表したりする。</p>									
<p>【終礼】 12:25(2-1教室) ・作業報告 ・改善提案(ミスや注意事項があつて全体に周知しなければならない場合) ・教員より</p> <p>⇒正しい言葉遣いで全員に伝わる分かりやすい報告ができたか ⇒失敗や学んだことを次に生かそうとしているか(メモを取る、全体で共有するなど)</p>													

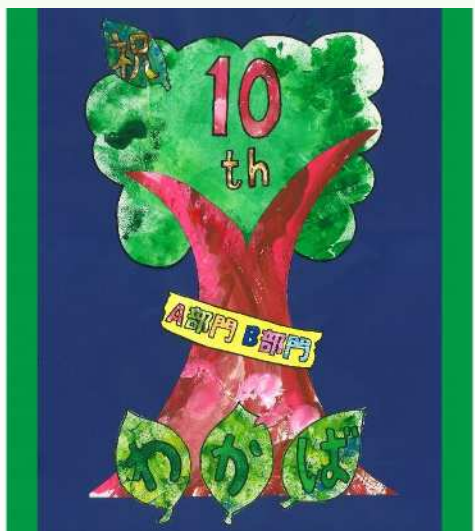
昼食

12:40~13:20

昼食場所：体育館

カフェわかば（10:00~13:30 パン販売）





公開授業②

13:25~14:15

<p>13:25~14:15</p>	<p>(2年生) ポスターセッション “自分が成長した瞬間” 場所：1-2・2-3・2-1</p>	<p>(3年生) 「キャリアデザイン相談会」 “参加者の悩み聞きます” 場所：1-3・1-1・2-2</p>
<p>14:15~14:30</p>	<p>休憩</p>	



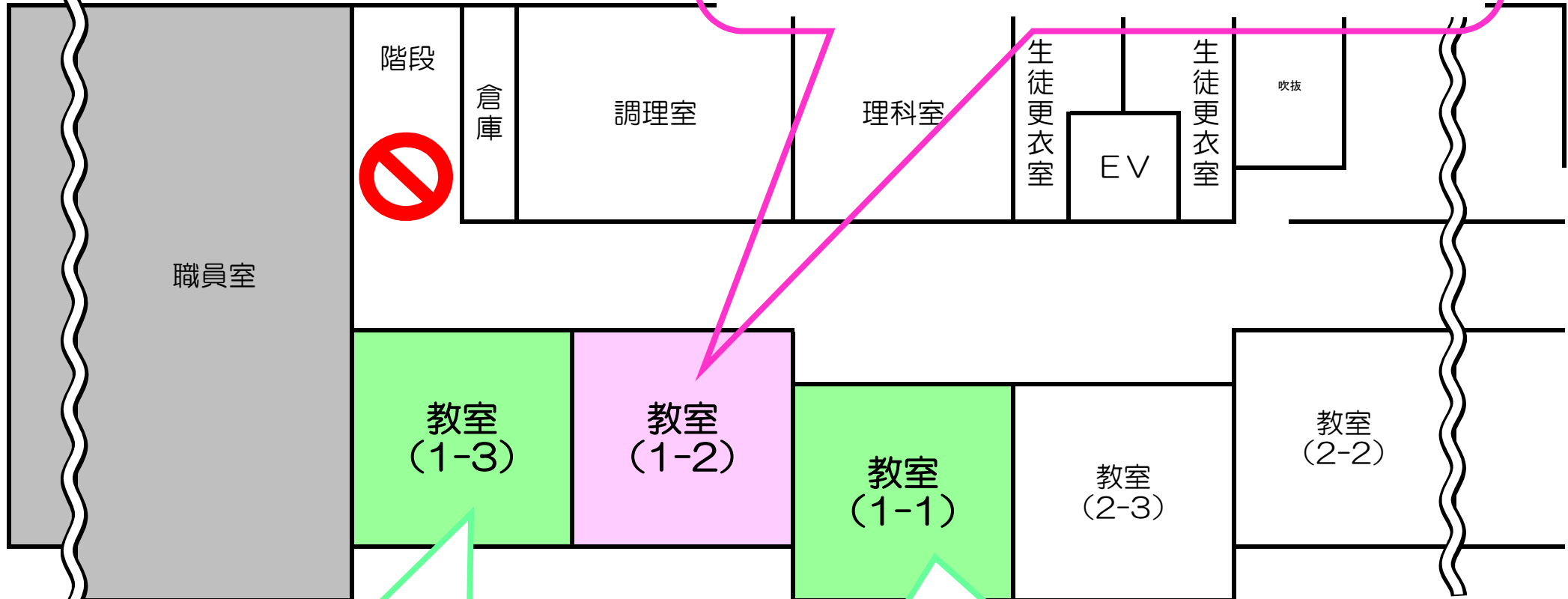
(3年生)
「キャリアデザイン相談会」
“参加者の悩み聞きます”

前半

- ▼虹のかけはしでチラシ折り作業が出来るようになりました！
- ▼ビルメンテナンス 午後の外窓
- ▼仕込み見習い
- ▼最後の砦（出荷作業）

後半

- ▼失敗から成功へ
- ▼みんなに支えられておいしくなったブロッコリー
- ▼グループの仲間に、自分から具体的な意見を伝えたこと



(3年生)
「キャリアデザイン相談会」
“参加者の悩み聞きます”

(3年生)
「キャリアデザイン相談会」
“参加者の悩み聞きます”

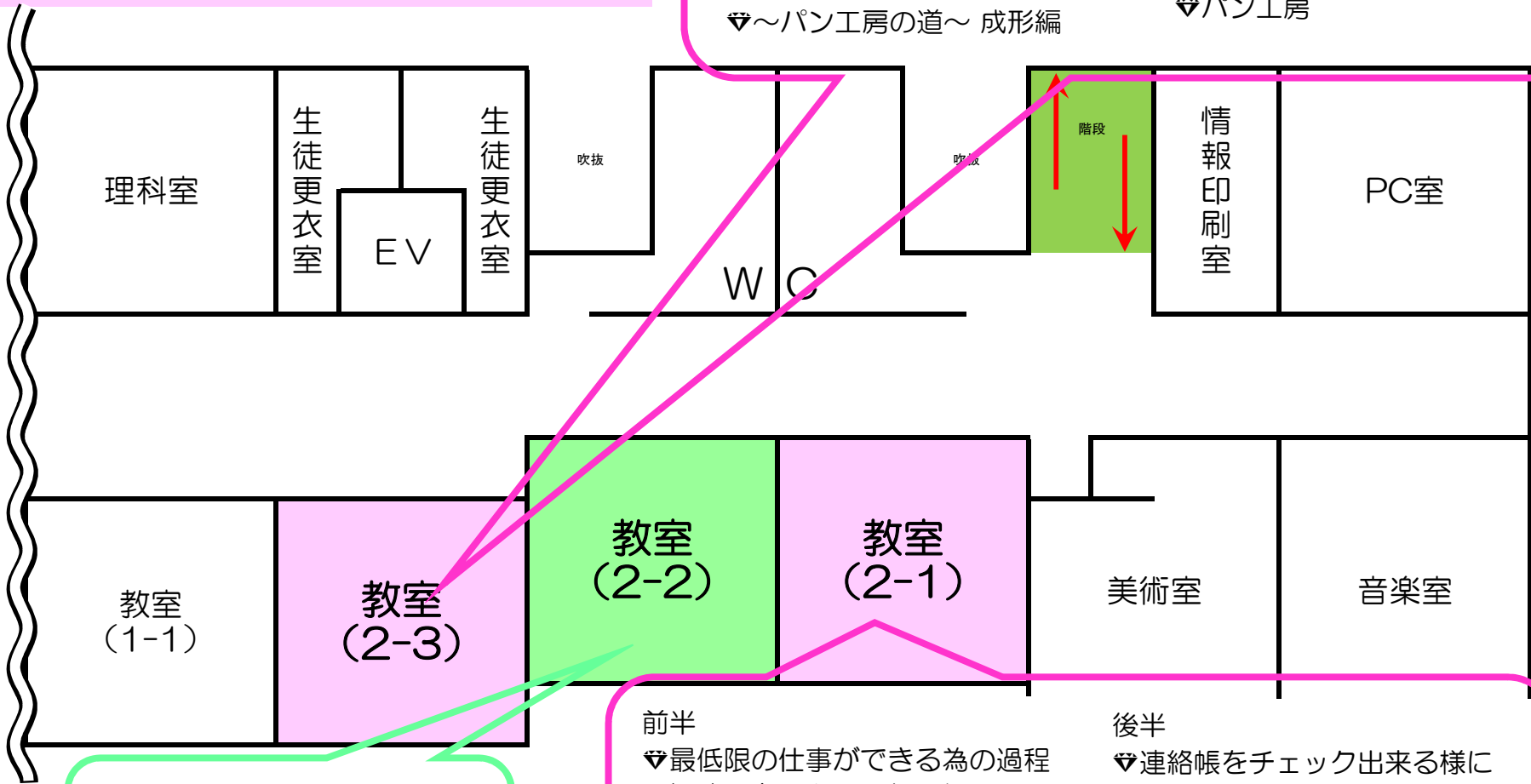
(2年生)
ポスターセッション
“自分が成長した瞬間”

前半

- ♡自信をもって作業に取り組めるようになった
- ♡名刺を試し印刷している場面
- ♡音楽で大きな声で歌えるようになった
- ♡～パン工房の道～ 成形編

後半

- ♡人に頼れるようになった自分
- ♡パンシールがテキパキできた!
- ♡大倉!大变身!
- ♡図書ランキング落第男の話
- ♡パン工房



(3年生)
「キャリアデザイン相談会」
“参加者の悩み聞きます”

前半

- ♡最低限の仕事ができる為の過程
- ♡相談できるようになった
- ♡頑丈になった土台
- ♡パン工房の焼きができるようになりました

後半

- ♡連絡帳をチェック出来る様になった
- ♡大きな声で挨拶や返事ができた
- ♡人見知りから少し成長
- ♡【自称】カフェマスター

全体会②

14:30~16:00



14:30~15:00	実践報告 アセスメントに基づいた進路指導を目指して ～「ライフスキル チェック表 わかば版」を用いた実践と「BWAP2」活用の可能性～ キャリア支援部長・進路専任 矢ヶ部 洋滋
15:00~15:45	授業講評・講演 「生徒のいまの学びと将来を対話でつなぐキャリア・パスポート」 ～生徒主体のカリキュラム・マネジメントに向けて～ 弘前大学大学院 教育学研究科 教授 菊地 一文氏
16:15~16:30	質疑応答
体育館	



令和4年度

横浜わかば学園 公開研究会

実践報告

アセスメントに基づいた進路指導を目指して
～「ライフスキル チェック表 わかば版」
を用いた実践と「BWAP2」活用の可能性～

キャリア支援部 矢ヶ部 洋滋

横浜わかば学園（B部門）が
用いているアセスメント

ライフスキル チェック表 わかば版

BWAP2

横浜わかば学園の生徒たちが
目指すゴールは・・・？

「就労すること」



「働き続けることで生活の基盤
を安定させ、豊かな人生を送ること」



「働き続ける力」 育成

そのためには・・・

「働き続ける」には何が必要か？

ハードスキル（仕事上での技能）



ライフスキル

（自分で日々の生活を送ることができる技能）



なぜ ライフスキル が必要か？

「決まった時間に寝て、起きることができる」

→ 遅刻せず、出勤

「栄養バランスの取れた食事を毎日採る」

→ 健康保たれ、欠勤なし

「毎日入浴し、一連の洗濯作業ができる」

→ 清潔感があり、職場での人間関係良好

ライフスキルの取り組み（2018年度～）

※職業基礎（1、2年 週1H）で実施

①アセスメント

（ライフスキル チェック表 わかば版 の実施）

②「できるようになりたいライフスキル」選定

③各自が家庭で実施、記録

定期的
に
面談、見直し

④ふり回り

（再度、ライフスキル チェック表 わかば版
を実施し、自分の変化を知る）

①アセスメント

ライフスキル チェック表 わかば版
の実施

ライフスキル チェック表 わかば版

I 日常生活 「衣」「食」「住」
「金銭管理」「健康管理」

II 余暇活動 「移動」「計画」「施設利用」
「情報収集」「決まり」

III 対人関係 「話す・聞く」「質問・報告・連絡」
「相談など」「交友」
「自己コントロール」

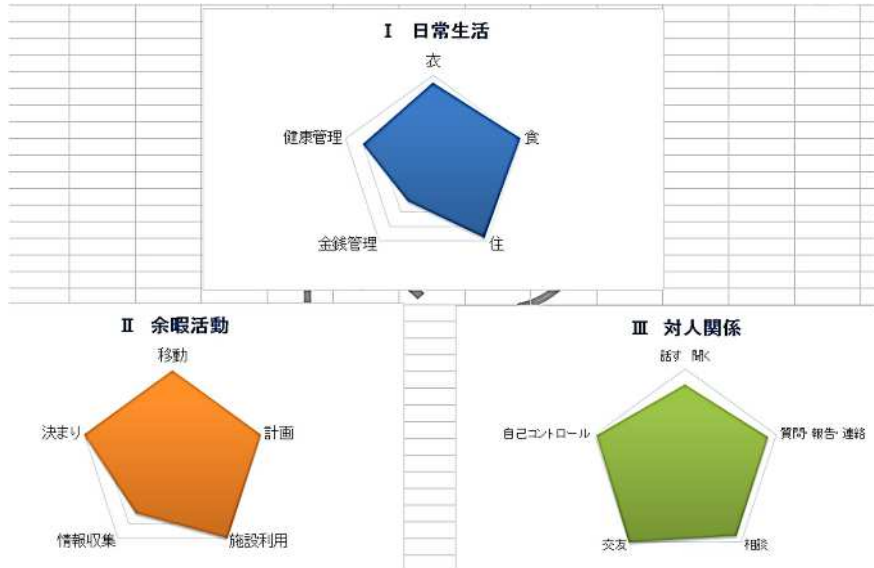
評価は4段階

4（できる）、3（だいたいできる）、
2（あまりできない）、1（できない）



★自己チェック
その後、保護者と話し合いながら再度チェック

グラフ化



② 「できるようになりたい
ライフスキル」 選定

③ 各自が家庭で実施、記録

★記録用紙

2018年度
6期生（1年生）

保護者サイン

領域	日常生活		
項目	健康管理(規則正しい生活)		
No. わかば版内容	No.34 夜更かしせずに(10時に着く)ほぼ決まった時間に就床する。		
日付	取り組んだ内容	保護者サイン	先生サイン
1/6 (火)	9時には就床できました。	<input checked="" type="checkbox"/>	天部
1/16 (金)	10時前に就床できました。	<input checked="" type="checkbox"/>	天部
1/21 (土)	10時前に就床できました。	<input checked="" type="checkbox"/>	天部
1/28 (日)	10時前に就床できました。	<input checked="" type="checkbox"/>	天部
1/29 (日)	10時前に就床できました。	<input checked="" type="checkbox"/>	天部
1/25 (日)	10時前に就床できました。	<input checked="" type="checkbox"/>	天部

★記録用紙

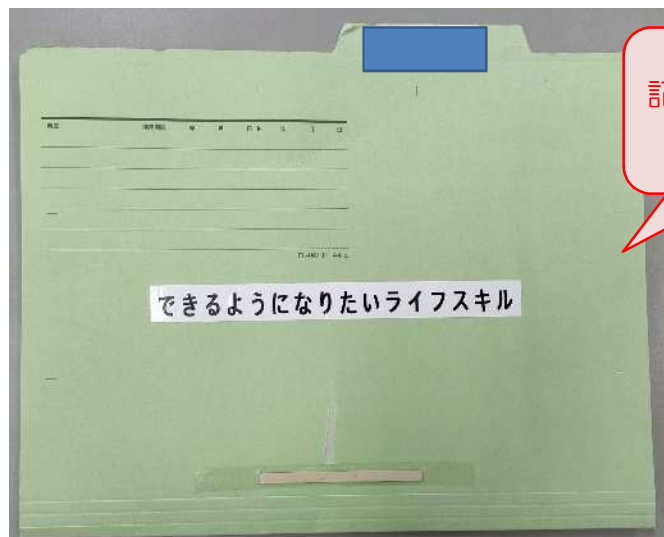
2022年度 9期生（2年生）

2022年
4月

領域/項目	Ⅰ日常生活	規則正しい生活
No. わかば版内容	No.34	夜更かしせず決まった時間に寝る
今の目標(ステップ1)	月火水木日の夜の23時までに寝る(寝る時間記録)	
目標変更、次のステップに進むときに記入	記録	

日	月	火	水	木	金	土
取り組み内容			保護者サイン	春季休業	1 23時30分 ×できなかった	2 22時40分 ○できた
保護者サイン						
3 22時40分 ○できた	4 22時40分 ○できた	5 22時30分 ○できた	6 22時30分 ○できた	7 23時10分 ×できなかった	8 22時30分 ○できた	9
10 0時00分 ×できなかった	11 22時40分 ○できた	12 ★提出日 <input checked="" type="checkbox"/>	13 22時30分 ○できた	14 22時40分 ○できた	15 22時40分 ○できた	16
17 22時30分 ○できた	18 22時30分 ○できた	19 ★提出日 <input checked="" type="checkbox"/>	20 22時30分 ○できた	21 22時40分 ○できた	22 22時30分 ○できた	23
24 23時10分 ×できなかった	25 23時30分 ×できなかった	26 ★提出日 <input checked="" type="checkbox"/>	27 22時30分 ○できた	28 22時30分 ○できた	29 23時30分 ×できなかった	30

★ 学校⇔家庭 ファイルでやりとり



定期的に面談、
見直し



④ふり返り

再度、
ライフスキル チェック表 わかば版
を実施し、自分の変化を知る

氏名 ([redacted])

領域	日常生活
項目	家事
わかば版内容	12 トイレ掃除ができる

このスキルに取り組んでみてどうだったか、身についたか

事前 (夏休み中にチェック)

3月にチェック

1



2

- 4 (できる)
- 3 (だいたいできる)
- 2 (あまりできない)
- 1 (できない)

掃除はしてはいるものの、習小員には出来
ていなかった。言葉ではやろうとしているが行
動に移せていなかった。一度言ったからには
責任をもって最後までやればよかった。

領域	日常生活
項目	金銭管理
わかば版内容	18 小遣い帳をつけることができる

このスキルに取り組んでみてどうだったか、身についたか

事前（夏休み中にチェック）

1



3月にチェック

4

- 4（できる）
- 3（だいたいできる）
- 2（あまりできない）
- 1（できない）

最初のころは、買ってもつけていなかったが最近
は買った件目をつける習慣が出来る。

領域	対人関係
項目	話す・聞く
わかば版内容	52 初対面の人にも挨拶・返事ができる

このスキルに取り組んでみてどうだったか、身についたか

事前（夏休み中にチェック）

3

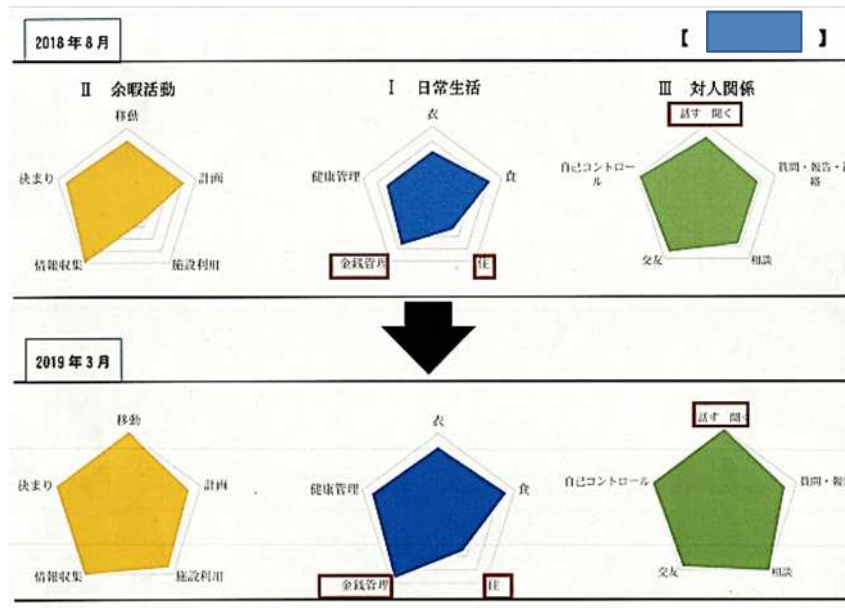


3月にチェック

4

- 4（できる）
- 3（だいたいできる）
- 2（あまりできない）
- 1（できない）

木目手から来るまで練習していたが自分から挨拶
が出来るようになった。

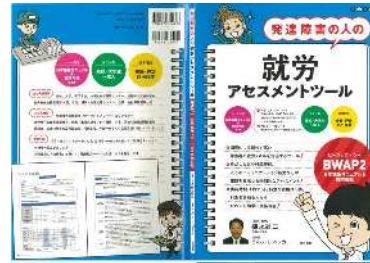


横浜わかば学園（B部門）が
用いているアセスメント

ライフスキル チェック表 わかば版

BWAP2

就労アセスメントツール 「BWAP2」とは…①

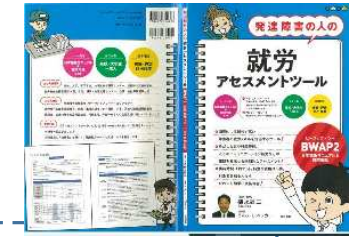


ベッカー職場適応プロフィール：2
Becker Work Adjustment Profile 2
= BWAP2

米国や諸外国で利用されている、障害のある人の職場適応力を
アセスメントするツール

1989年ラルフ・L・ベッカー博士（オハイオ州コロンバス州立
大学教授）により開発された初期版を15年かけて修正を繰り返し、
改訂

就労アセスメントツール 「BWAP2」とは…②



- 検査項目は4つの領域に分かれている
- 生徒の強みと弱み（課題）を見出せる
- 実施時間は約15分 特別な資格は不要
- 対象者を知る人なら誰でも実施可能

4領域

- ①仕事の習慣／態度（HA）
- ②対人関係（IR）
- ③認知能力（CO）
- ④仕事の遂行能力（WP）

「BWAP2」導入の経緯

開校当初、TTAP 導入試みるが・・・
⇒検査時の職員のスキルやコスト面から断念

2020年度夏、梅永雄二先生（早稲田大学）アセスメント講演

2020年度後期、早大院生によるBWAP2実施
週一回来校、クラス1名ずつ実施

2021年度6月、職員会議にて「個別の教育支援計画を効果的に作成
するために」BWAP2導入を提案 ⇒ 了承

2021年度、1年生（9期生）のみ実施

2022年度、1年生（10期生）・2年生（9期生）実施

仕事の習慣／態度：HA

対人関係：IR

◎【仕事の習慣／態度：HA】
「勤怠状況」「時間遵守」「衛生管理」「意欲」および「仕事中の姿勢」を評価する10項目が設定されています。
このスキルは、行動や態度を表す対象者の内面的特性を評価するものです。行動特性や態度は出勤不良などに関係します。身なりが行き届いていなかったり、忍耐力が低かったりすることを観察し評価します。

1	衛生面	身体を清潔にしておくための入浴、洗髪などをします。
2	適切な服装	仕事をすることで職場にふさわしい服装をします。
3	身だしなみ	身だしなみを整えている。
4	時間遵守	前定おしえない、昼休みの休憩後に時間通り戻ってくる（職務中に遅れた場合は自前の時間前において開始）。
5	モチベーション	与えられた仕事を行分面にやる気や関心を示す。
6	出勤率	無作為に遅れ、過去20日間の欠勤回数。
7	積極性	与えられた仕事を責任をもって遂行する。
8	作業姿勢	正しい姿勢で仕事をこなす。
9	食事のマナー	適切な食器の使用、食音できる食べ方。
10	トイレのマナー	使用後に流す、手を洗う、手をふく、ドアを閉める、トイレトーパーの利用などが適切に行える。

◎【対人関係：IR】
「社会的認知力」、「積極性」、「協調性」といった3つの分野におけるスキルを評価する12の項目が設定されています。対象者が与えるさまざまな職場の状況の中で従事者上層との社会的認知力や「職場で変化があった時や落ち込んだ時、ストレスが生じた時の情緒的安定、同僚や上司との協力関係など」を評価します。
このスキルは、すべての行動行動の場面で同僚や上司との人間関係を総合的に評価するものです。

1	同僚や上司への対応	同僚や上司に対して礼儀正しく接する。
2	集団への受け入れ	集団に受け入れられる。
3	上司への協力	職務上上司や同僚への理解。
4	積極性	仕事と関係のある話題を聞く。
5	同僚への協力	職務上同僚への理解。
6	同僚への配慮	同僚と仲良くやっていける能力。
7	修正の受け入れ	上司からの仕事に関する課題や改善の指摘を受け入れられる。
8	感情の安定	イライラした時や気分が落ち込んだ時に感情をコントロールできる。
9	社会常識	業務以外に社会での行動の命で常識を理解する。
10	仲間への信頼	言われたりも同僚や上司の信頼を受ける。
11	ルーティンの変更	パターン化されている仕事に柔軟な対応が求められる。
12	職場行動	職務に遅れても遅延なく、適切な行動をする。

認知能力：CO

⑥ [認知能力：CO]

「独断」、「判断」、「決定」、「思考」、「認識」といった主に知的なスキルを評価する19の項目が設定されています。読解力、書き能力、弁別能力、計算能力などを評価します。具体的には、日常生活における時間概念、仕事に関する知識、業務実行の能力などです。このスキルは職場にうまく適応するために、不可欠で体系的な能力を構築し、評価するものです。

1 数概念	加減算が正しくできる。
2 コミュニケーション能力	言葉のほかに、ジェスチャー、サインなどの視覚的な手段を使って、双方向のコミュニケーションを図る。
3 記憶力	口頭による指示や仕事の情報を記憶する。
4 読解力	読んで理解できる。
5 日ごとの概念	昨日、明日、明日のおよぼし曜日の理解。
6 書き能力	ワープロ、あるいは筆記でのコミュニケーションができる。
7 時計が読める	時計でも読める。時計をみて正確に時刻を読み取ることができる。
8 電話の使用	電話を受ける、かける、電話帳が使用できる。
9 計算	簡単な計算に答えることができる。
10 金銭管理	現金の出し入れ、目録のお金の使用ができる。
11 分類能力	大きさによって分類ができる。
12 基本的な要求伝達	音が通い、トイレットに行きたい、体調が悪いなどを上司に伝えることができる。
13 言語指示に従う	言語指示を理解して、仕事を遂行できる。

仕事の遂行能力：WP

⑦ [仕事の遂行能力：WP]

「拡大および積極運動」、「コミュニケーション」、「仕事の責任」、「作業遂行」の4つの分野を評価するための22項目が設定されています。

1 スイスの修正	作業上でミスをした時、修正できる。
2 仕事の責任	作業の正確さ、丁寧さの確保。
3 仕事のやりかた	仕事の業務に自ら取り組む。
4 仕事の量	仕事の達成率、多い仕事量の確保。
5 材料・道具の要求	仕事を完了するための材料や道具を要求する。
6 信頼性	信頼性のある仕事を遂行できる。
7 自立継続	業務の指導を受け入れた後、自ら仕事を遂行できる。
8 必要な情報要求	仕事や、上司に対して必要な情報を要求する。
9 道具の選択	作業時、必要とした場所に道具を要求する。
10 仕事への集中力	与えられた仕事に対して集中している状態。
11 作業場の清潔維持	仕事や安全が終了後の作業場をきれいにする。
12 タイムレコード	会社・課の時間、またはタイムカードを使用する。
13 仕事の安定度	勤務先に遅れた範囲内で、安定して生産的な仕事を行っている。
14 正しい道具の使用	仕事の道具や機器を適切に使用できる。
15 安全対策	事故を起さないように、安全対策を遵守する。
16 課題の報告	現場で起きた課題を上司に報告する。
17 仕事上の体力	通常の仕事において、常に作業のペースを維持できる体力がある。
18 細かい作業能力	細かい作業の独立して作業をする能力と集中力。
19 手作業	作業に必要、仕掛け、機械操作などの手作業性。
20 拡大運動	重いものを持ち上げる、運ぶ、押す、引くなどの作業の開始と継続的運動性。
21 持ち場での安定度	自分の持ち場に居まることができ、休憩しない。
22 身体的動き	重いものを持ち上げたり、運んだり、押したり、引いたりする能力がある。

アセスメントシート

対人関係(IR)アセスメントシート

同僚や上司への対応(礼儀正しく接する)	
1 過度に礼儀 過度に礼儀 礼儀正しく 過度に礼儀正しく 過度に礼儀正しく	0 1 2 3 4
集団への受け入れ(集団に受け入れられる)	
2 集団に受け入れられる 集団に受け入れられる 集団に受け入れられる 集団に受け入れられる 集団に受け入れられる	0 1 2 3 4
上司への協力(職務遂行上の上司への協力)	
3 上司に協力する 上司に協力する 上司に協力する 上司に協力する 上司に協力する	0 1 2 3 4
信頼性(他者と信頼性のある関係を築く)	
4 信頼されていない 信頼されている 信頼されている 信頼されている 信頼されている	0 1 2 3 4
同僚への協力(同僚と仲良くやっていく能力)	
5 同僚に協力する 同僚に協力する 同僚に協力する 同僚に協力する 同僚に協力する	0 1 2 3 4
修正の受け入れ(上司からの建設的な指摘を受け入れる場合)	
7 修正を受け入れる 修正を受け入れる 修正を受け入れる 修正を受け入れる 修正を受け入れる	0 1 2 3 4
感情の安定(イライラしたり気分が落ちたりした場合)	
8 感情的になりやすい 感情的になりやすい 感情的になりやすい 感情的になりやすい 感情的になりやすい	0 1 2 3 4
社会参加(社会的な活動の中で同僚と関わる)	
9 社会参加しない 社会参加しない 社会参加しない 社会参加しない 社会参加しない	0 1 2 3 4
他者への援助(言わなくても同僚や上司の手伝いをする)	
10 他者への援助しない 他者への援助しない 他者への援助しない 他者への援助しない 他者への援助しない	0 1 2 3 4
ルーティンの変更(いつも決まっていた仕事に変化があった場合)	
11 ルーティンの変更しない ルーティンの変更しない ルーティンの変更しない ルーティンの変更しない ルーティンの変更しない	0 1 2 3 4
職場の行動(無作為に選んだ1週間内で起こす積極的行動の頻度)	
12 積極的行動が少ない 積極的行動が少ない 積極的行動が少ない 積極的行動が少ない 積極的行動が少ない	0 1 2 3 4

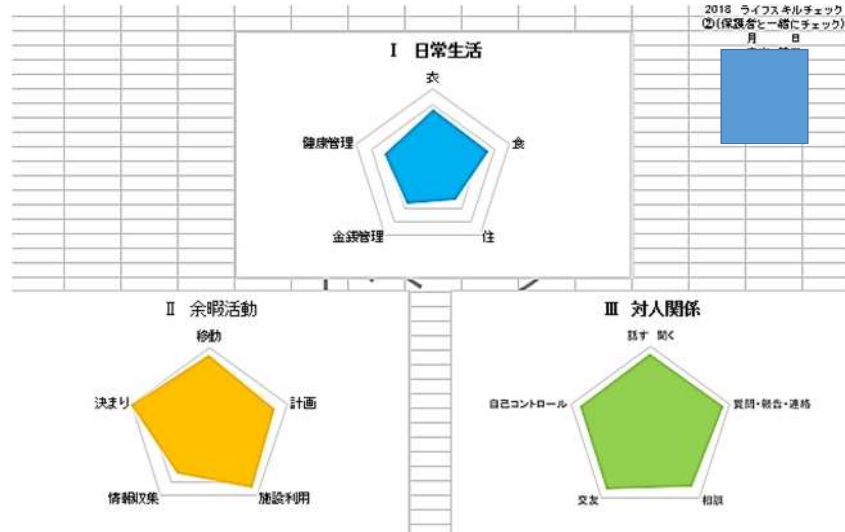
対人関係(IR)の粗点

アセスメント結果



卒業生の事例
Aさん
 (6期生、男性)

Aさん 1年生8月 ライフスキルチェック実施



Aさん 「できるようにになりたいライフスキル」 選定①

領域	日常生活		
項目	住		
No. わかば庭内容	15.自分の持ち物の整理整頓を妨		
日付	取得んだ内容	保護者サイン	先生サイン
1/4 (日)	リビングの空のベムホルルの片づけ ※取っ手と扉の扉も整理物を配入しよう。	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野
1/5 (日)	ベムホルルの片づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野
1/8 (土)	リビングのゴミ箱のゴミ入れ P.V. 500ml 入れ	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野
1/9 (日)	シューズの片づけ、シューズ入れ	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野
1/10 (土)	シューズの片づけ、シューズ入れ	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野
1/16 (日)	シューズの片づけ、シューズ入れ	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野

日付	取得んだ内容	保護者サイン	先生サイン
1/16 (火)	ひょうな物のせい	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野
1/16 (日)		<input checked="" type="checkbox"/>	矢野

Aさん 「できるようにになりたいライフスキル」 選定②

領域	余暇活動		
項目	情報収集		
No. わかば庭内容	48.新聞雑誌、テレビインターネットなどから得た情報を収集し活用する		
日付	取得んだ内容	保護者サイン	先生サイン
1/4 (日)	天気よぼうのかくにん ※取っ手と扉の扉も整理物を配入しよう。	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野

領域	対人関係		
項目	質問・報告・連絡		
No. わかば庭内容	58.その場の状況を相手に初歩よく伝		
日付	取得んだ内容	保護者サイン	先生サイン
1/19 (月)	OSビルで話す言葉の内ようを長く考えてしま	<input checked="" type="checkbox"/>	矢野

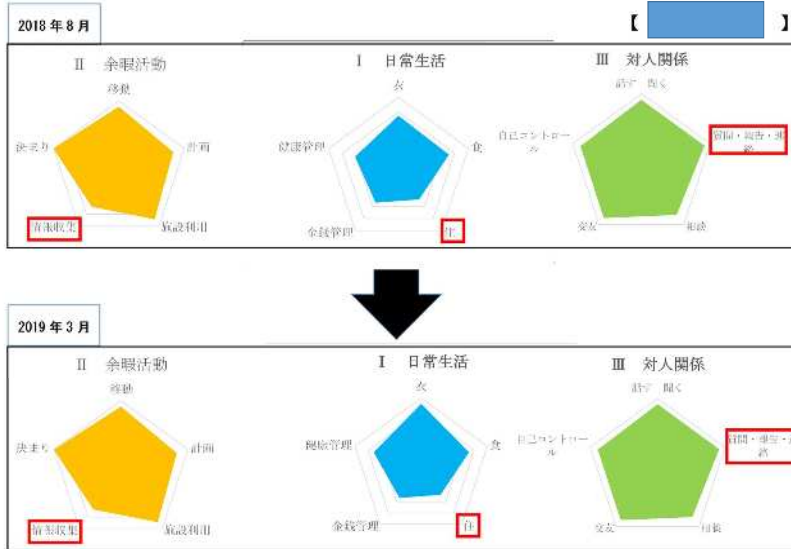
Aさん「できるようにになりたいライフスキル」
取り組みの様子

課題に取り組む時の自分のタイプ (継続できたかな? ★をみて、自分はどのようなタイプ)

項目	10月		11月		12月 (17日連続)			1月		2月	
	15日	5日	19日	26日	3日	10日	17日	21日	28日	5日	25日
15 整理整頓				○		サイン	サイン	○			
48 情報活用				○		×	×				
58 状況を相手に伝える											
いずれかを取り組み提出できた(★)				★				★			

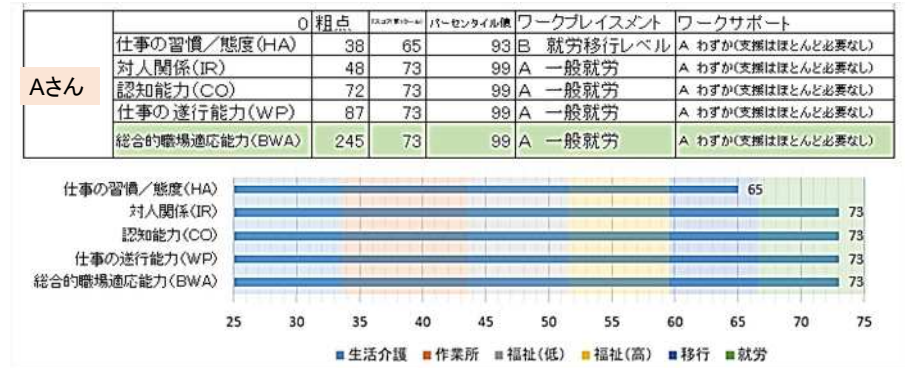
★をみた結果：提出回数(9)回中、(2)回、取り組めた。
自分は書くことを忘れてしまうタイプで前半後半できていなくて
取り組んだないようを書いていなかたりして、取り組んだないようを忘れてしまうことがあるので
できたらすぐに書いて親に毎日ハンコをおしてもらうようにけいぞくできるようにがんばりたい。

Aさん 「できるようになりたいライフスキル」変化



Aさん
3年生12月
BWAP2
実施

仕事の習慣／態度 (HA)	65
対人関係 (IR)	73
認知能力 (CO)	73
仕事の遂行能力 (WP)	73
総合的職場適応能力 (BWA)	73 (就労可能)



Aさん 就労先決定の経緯①

- 1年生 若葉台実習 (近隣の病院での庶務的業務)
「良かった点は、指示に対して迅速に対応でき、積極性があるところ。課題点は、落ち着きがない面や確実性・着実性の不足」
- 2年生 適性を知る実習① (ロジスティクス)
「挨拶や周囲の人との人間関係で低めの評価」
- 2年生 適性を知る実習② (事務・庶務)
「周囲の人との人間関係で低めの評価だが、就労レベル：A」
- 2年生 適性を知る実習③ (販売・流通)
「理解力、仕事の速さ、問題なし。就労レベル：A」
- 2年生 適性を知る実習④ (清掃、資源選別業務)
「仕事の内容をきちんと理解していた。就労レベル：A」

Aさん 就労先決定の経緯②

- 2年生 適性を見極める実習 (事務・庶務)
※「事務・庶務」を希望。適性を知る実習②と同企業で実施
「日誌記入の不足を指摘されるものの、真面目さや素直さを高く評価される。就労レベル：A」
 - 3年生 就労体験実習 (事務・庶務)
※引き続き、2年適性を見極める実習と同企業で実施
「就労レベル：B」
- ⇒コロナの影響により、3年生はこの1回のみの実施で内定

Aさん 就労後1年目の様子（11月）

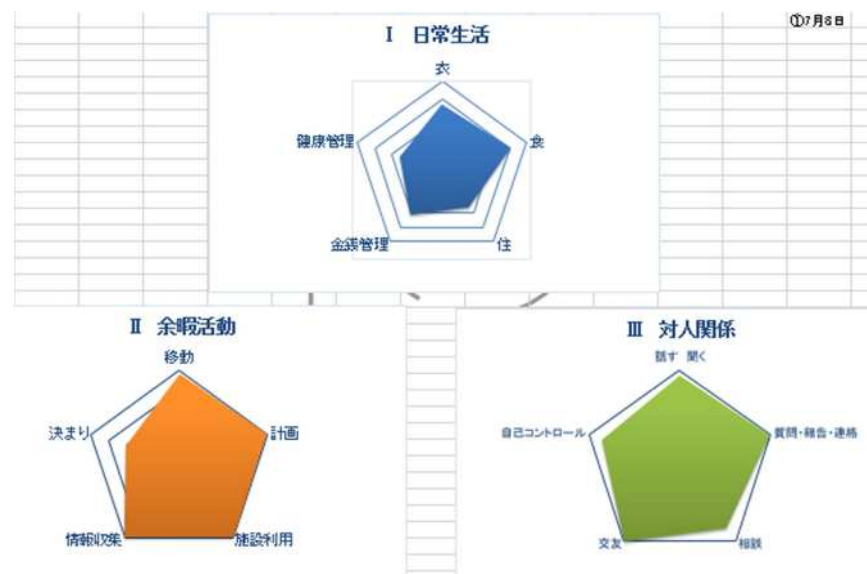
- ・システム課でソフトの編集をしたり、フォーマットの見直しなどもしてもらっている。大変細かい作業だがよくやってくれている。
- ・現在は1回/週に在宅勤務となっている。在宅勤務中に会社のPCを持って帰ってもらってデータの整理の仕事をってもらっている。分からなくてもチームスで問い合わせできる。

Aさん 就労後2年目の様子（6月）

- ・仕事に慣れて周りの人との会話も出来るようになってきた。新しい仕事も増え、早く覚えたいと思っている。CADなどの新しい仕事も大変ではない。
- ・尊敬している先輩がいる。とても忙しそうに仕事をしているのに話づらい雰囲気は全然ない。仕事上の相談は何でもできる。（本人談）

卒業生の事例 Bさん (7期生、男性)

Bさん 1年生7月 ライフスキルチェック実施



Bさん「できるようになりたいライフスキル」 選定

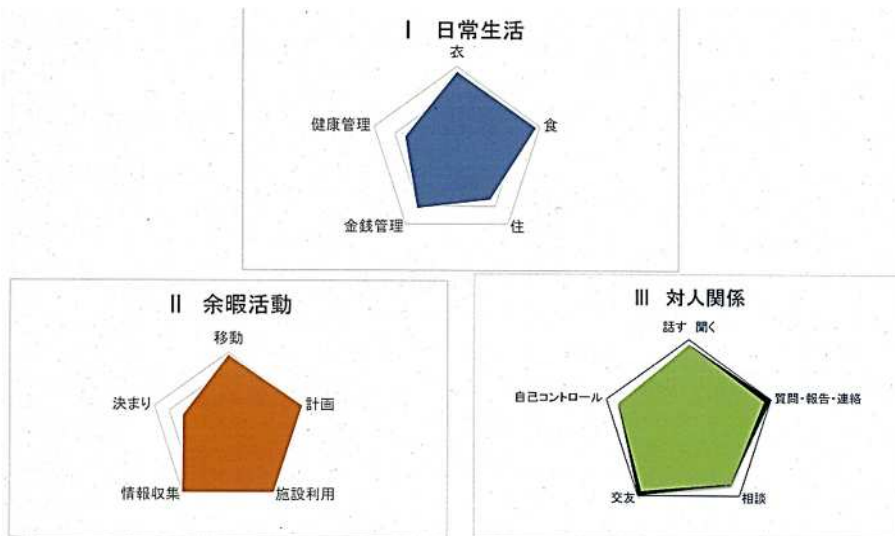
I 日常生活	12 <u>自分の部屋を定期的に掃除する</u>	①引き出しの中が汚いので片づける
II 余暇活動	63 <u>携帯電話などは歩きながら操作しない</u>	①したい時はとまってやる
III 対人関係		

Bさん「できるようになりたいライフスキル」 取り組みの様子

課題に取り組む時の自分のタイプ (継続できたかな? ★をみて、自分はというタイプ)

項目	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		
	17日	26日	12日	30日	7日	21日	28日	18日	2日	9日	17日	7日	20日	27日	3日	10日	17日
12. 掃除の回数	○	△	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	欠席	○	△	○	×
63. きまり	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
いずれかを 取り組み提出 できた(★)	★	△	×	×	×	★	×	×	×	×	×	×		★	★	★	×

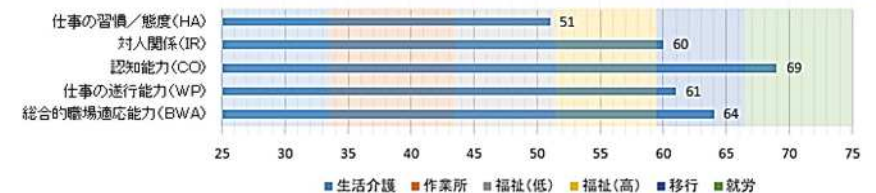
Bさん 1年生3月 ライフスキルチェック実施



Bさん
2年生12月
BWAP2 実施

仕事の習慣/態度 (HA)	51
対人関係 (IR)	60
認知能力 (CO)	69
仕事の遂行能力 (WP)	61
総合的職場適応能力 (BWA)	64 (就労移行)

	0 粗点	250点満点	350点満点	ワークプレイズメント	ワークサポート
Bさん					
仕事の習慣/態度(HA)	27	51	54	C- 福祉就労(低)レベル	C 中(支援はある程度必要)
対人関係(IR)	39	60	84	C+ 福祉就労(高)レベル	B 低(支援は少なめ)
認知能力(CO)	67	69	97	A 一般就労	A わずか(支援はほとんど必要なし)
仕事の遂行能力(WP)	70	61	86	B 就労移行レベル	B 低(支援は少なめ)
総合的職場適応能力(BWA)	203	64	92	B 就労移行レベル	A わずか(支援はほとんど必要なし)



Bさん 就労先決定の経緯①

- 1年生 若葉台実習（近隣スポーツクラブでの庶務的業務）
「笑顔で率先した挨拶には課題あるが、業務をしっかり遂行できた。」
- 2年生 適性を知る実習①（販売・流通）
「挨拶など基本姿勢できている。自分から動ける。指示内容も的確に判断できる。」
- 2年生 適性を知る実習②（事務・庶務）
「仕事中に居眠りをしていて。仕事内容や人により態度が変わることがあった。」
- 2年生 適性を知る実習③（清掃）
「体力的に若干不安があった。」

※コロナの影響により、2年適性を知る実習が4回⇒3回

Bさん 就労先決定の経緯②

- 2年生 適性を見極める実習（食品加工）
「スーパーのベーカリー部門。8時の時点で作業場に到着していないことがあった。少し集中力が欠けることがあった。就労レベル：B～C」
- 3年生 就労体験実習①（販売・流通）
「仕事を覚えようという意欲あり。遅刻があった。仕事を早く覚えたいという気持ちが強く、休憩時間をしっかりとれていない。就労レベル：B」
- 3年生 就労体験実習②（食品加工）
「作業場への遅刻が数回あった。就労レベル：D」
⇒課題ありつつ、内定

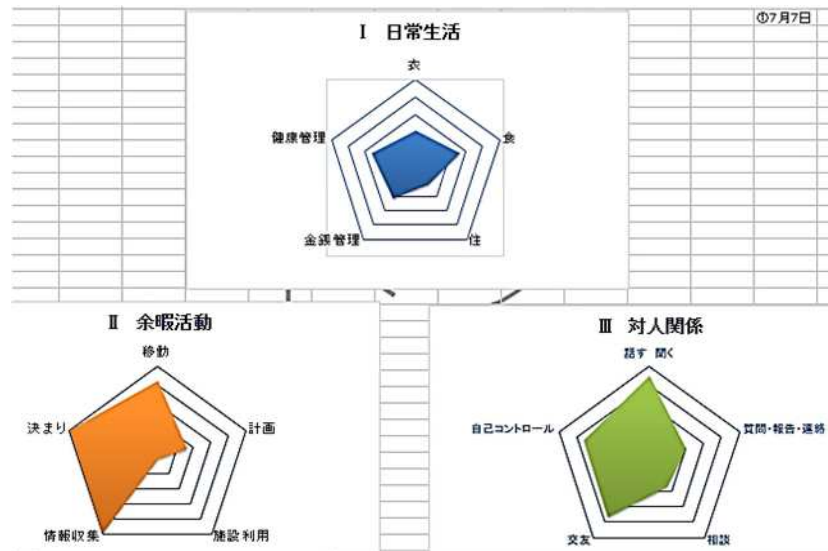
Bさん 就労後1年目の様子（10月）

- 出勤時間が毎日始業時刻ギリギリ、遅刻の時もある。
- 作業スピードを気にする様子もなく、指摘を受けるとふてくされてしまう。時間と共にスピードが低下してくる。集中力がない。
- 週末は17:00の帰宅後、夕食食べず午前3時くらいまでゲームをする。夜風呂入らず朝に風呂に入る。
- やらなくてはいけないと思うが「体と心がバラバラ」（本人談）

卒業生の事例

Cさん
(7期生、男性)

Cさん 1年生7月 ライフスキルチェック実施



Cさん 「できるようになりたいライフスキル」 選定

領域	日常生活
項目	家事
わかば版内容	18 <u>風呂掃除をする</u>

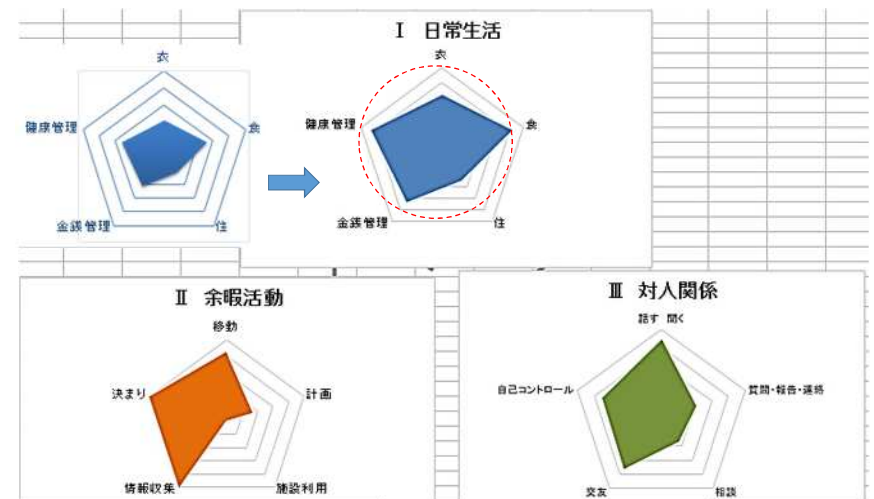
領域	余暇活動
項目	移動
わかば版内容	42 <u>到着時刻から逆算して電車・バスを利用する</u>

Cさん「できるようになりたいライフスキル」 取り組みの様子

課題に取り組む時の自分のタイプ (継続できたかな? ★をみて、自分はどういうタイプ?)

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
17 衣	17日	26日	12日	30日	7日	21日	28日	18日
18 住	○	○	○	○	○	○	○	○
42 移動	○	○	○	○	○	○	○	○
いずれかを取り組み提出できた (★)	★	★	★	★	★	★	★	★

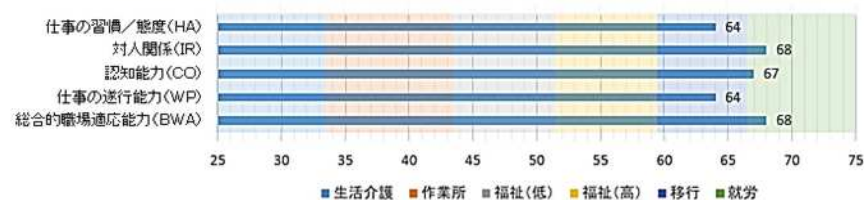
Cさん 1年生3月 ライフスキルチェック実施



Cさん
2年生12月
BWAP2 実施

仕事の習慣／態度 (HA)	64
対人関係 (IR)	68
認知能力 (CO)	67
仕事の遂行能力 (WP)	61
総合的職場適応能力 (BWA)	68 (就労可能)

	0 粗点	標準化	パーセンタイル値	ワークプレイズメント	ワークサポート
3					
仕事の習慣／態度 (HA)	37	64	92	B 就労移行レベル	A わずか(支援はほとんど必要なし)
対人関係 (IR)	45	68	96	A 一般就労	A わずか(支援はほとんど必要なし)
認知能力 (CO)	63	67	95	A 一般就労	A わずか(支援はほとんど必要なし)
仕事の遂行能力 (WP)	75	64	92	B 就労移行レベル	A わずか(支援はほとんど必要なし)
総合的職場適応能力 (BWA)	220	68	96	A 一般就労	A わずか(支援はほとんど必要なし)



Cさん 就労先決定の経緯①

- 1年生 若葉台実習 (近隣老人ホームにて清掃、洗濯)
「元気よくいろいろな人に挨拶ができた。」
- 2年生 適性を知る実習① (ロジスティクス)
「実習態度、作業への取り組み方には何の問題もない。作業も丁寧だが、慎重過ぎてチェックなどに過剰な点が見られた。」
- 2年生 適性を知る実習② (製造)
「元気に明るく一生懸命実習に取り組んだ。」
- 2年生 適性を知る実習③ (清掃・一般A社)
「とにかく真面目。スタッフだけでなく誰にでも適切な声で積極的に挨拶できた。」

Cさん 就労先決定の経緯②

- 2年生 適性を見極める実習 (清掃・一般B社)
「就労レベル：B 指示された作業について問題なし。臨機応変さが必要。」
- 3年生 就労体験実習① (清掃・一般B社)
「就労レベル：A まじめさがあり、素晴らしい。注意したことも素直に受け入れる。それを直そうとする。」
- 3年生 就労体験実習② (清掃・一般B社)
「就労レベル：B 3年生の最終実習なので、厳しい目で指導。良かった点は、注意したことを翌日までに自分なりに整理できたこと。課題点は、自分で考えて作業できるようになること。」

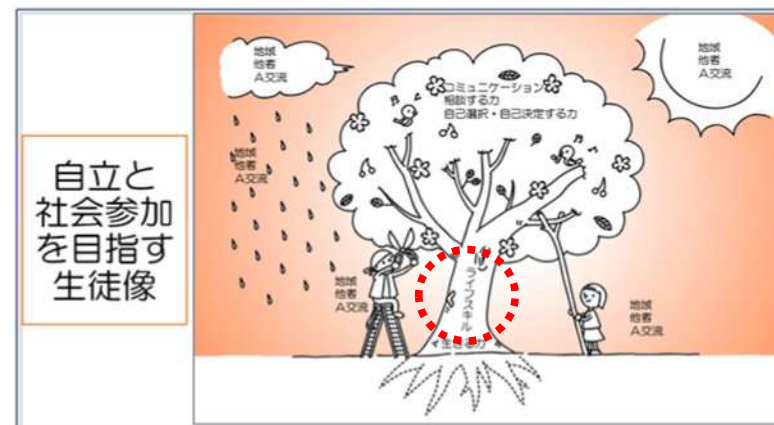
Cさん 就労後1年目の様子 (6月)

- 勤怠は安定しており、遅刻などはない。
- 初めはうろ覚えだったが、手順と段取りが出来るようになってきた。
- お金をいただいて仕事をしているという感覚があまりない。振り込まれた給料を見ていなかった。実習の延長のような印象あり。

	ライフスキル取組みの様子	ライフスキル実態の変化	BWAP2	就労先決定の経緯	就労後の様子
Aさん	継続できない	ほぼなし	仕事の習慣／態度 65 対人関係 73 認知能力 73 仕事の遂行能力 73 総合的職場適応能力 73 (就労可能) ※3年生12月実施	順調	順調
Bさん	継続できない	ほぼなし	仕事の習慣／態度 51 対人関係 60 認知能力 69 仕事の遂行能力 61 総合的職場適応能力 64 (就労移行) ※2年生12月実施	やや困難	困難
Cさん	真面目に取り組む	変化あり	仕事の習慣／態度 64 対人関係 68 認知能力 67 仕事の遂行能力 64 総合的職場適応能力 68 (就労可能) ※2年生12月実施	順調	順調

まとめ① 「ライフスキルに関して」

★5年間取り組んできたことにより・・・



(課題) ・ライフスキルチェック表の改善
 ・「小集団の対話」導入

まとめ② 「BWAP2に関して」

- ・フォーマルな就労アセスメントツール導入
⇒ 大きな成果
- ・よりの確なアセスメントにするために
⇒ 研修の必要性
- ・保護者や企業（事業所）とも
共有できるツールに

アセスメント
 (ライフスキルチェック表、
 BWAP2)
 活用



アセスメント
 に基づいた
 進路指導

生徒を客観的に把握する

ご清聴
 ありがとうございました

メモ

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

横浜市立若葉台特別支援学校 令和4年度 公開研究会

いまの学びと将来を対話でつなく キャリア・パスポートの可能性

—生徒主体のカリキュラム・マネジメントに向けた横浜わかば学園の取組を踏まえて—



弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻 教授 菊地 一文

1 横浜わかば学園のこれまでを振り返る

これまでの横浜わかば学園の10年+αの取組を振り返り、重要なポイントを整理する

-2-

横浜わかば学園のこれまでの10年間をふり返って

- ・横浜わかば学園の教育の本質は、生徒の「思い」を大切にし、生徒自身が行ったことや、したいこと等を「ふり返り」「表現」したり、教師や仲間が共感したり、価値付けたりすることにあるのではないかな。
- ・また、学び・育っていく生徒の姿が教師に影響を与え、教師もまた、学び・育っていくという相互作用があるのではないかな。
- ・そして、その土台には、それぞれが「安心」し「信頼」できる関係性があるのではないだろうか。

-3-

本日の横浜わかば学園の生徒との対話から①

パン工房(3年男子)

「オススメのパンは？」→「〇〇です」→「理由は？」→「△△△△なのでオススメです」
「いつもとちがうところは？」→「たくさんお客さんが来ているので臨機応変に...努めています」

ビルメンテナンス(2年男子)

「(掃除中に)トイレいいですか？」→「大丈夫です。□□□□使ってください」
→「今日はいつも違う？」→「昨日まで実習に行っていたので戻ってきたら...こうなって少し緊張しています」→「それは悪い緊張？よい緊張？」→「(熟考して)良い緊張だと思います」

案内(3年男子)

「たくさんお客さんが来てるけどどう？」→「普段からお客さんは来るけど、こんなに多くはないです」→「でも、しっかりできているね」→「本当はあんまり得意ではなくて、緊張しますけど、普段からお客さんに説明しているので、やれることを頑張るだけです」
※他の3年男子にも「自分から周りを見て声をかける」という「他者意識」「主体性」が見られた。

オフィスサービス(3年女子)

「何をしているの？」→「資料のデータを探して印刷するところです」→「この資料は何に使うの？誰からのオーダーなの？」→「(少し考えて)A部門の先生方が使う資料です」→「たくさんお客さんが来てるけどどう？」→「緊張はしますし、元々(知らない人と話すことが)得意ではないので、いつもどおりやるだけです」→「すごいね。前より成長したってことだね。」→「ところで就職先は決まった？」→「事務の仕事です」→「じゃあ今やっていることがそのまま役立つねパソコンだけでなく、こんな風にコミュニケーションできることも働く上で役に立つと思うよ」

-4-

本日の横浜わかば学園の生徒との対話から②

美術(1年男子)

「今日は何をやっているの？」→「アイデアスケッチです」→「詳しく教えてください」→「分かりやすくパラパラ漫画のようなアニメーションづくりをしていることを説明」→「テーマは？」
「どうしてこのテーマにしたの？」→「(端的に分かるように説明)」→「とっでも分かりやすい説明だね。ありがとう」 ※各教科での学びにおいて説明する機会を大事にする必要性

数学(2年男子3名)

「(授業後)今日は何の勉強したの？」→「テスト対策です」→「どんな内容？」→「時速とか」「距離とか」→「あと一つ何かあったよね？」→「時間！」→「そうだね。ところで勉強したことはなかった？」→「なんとなく分かったと思います」→「どんなことに役立ちそう？」→「社会に出た時に役立ちそうです」→「具体的にどんな場面で使えそう？」→「仕事の何かで役立ちそうです」→「(菊地が具体を例示)」→「そうそう、そんな感じです」
※学習の目的や具体的な活用場面を意識化できるようにする必要性

案内(3年女子)

「若葉台の一番よいところは何？」→「みんなが優しいところです」→「3年間を振り返ってみてどう？」→「あっという間でした」→「3年間で一番成長したと思うことは？」→「先を見通して仕事ができるようになったことです」→「何が役立った？」→「ビルメンで地域で作業することです」→「じゃあ大変だったことは？」→「ビルメンで覚えなきゃならないことが多いことです。大変で学校に行けなかったこともありましたが、でも、先輩や先生方に支えられて頑張ることができました」→「就職先は？」→以下省略
※指導・教え込みではなく、ふり返りや他者とのかかわりをおしての気づきが効果的で大事

44

本日の横浜わかば学園の生徒との対話から③

3年生の生徒が感じているわかば学園の「よいところ」

- ・みんな優しい
- ・チームワーク
- ・コミュニケーション能力がつく
- ・地域の人や職場の人とのかかわりが多いので成長できる
- ・働くための力が身につく
→「臨機応援」「細かいことへの気づき」「見通しをもつこと」「全体を見ること」等
- ・明るい・楽しい
- ・一人一人の個性を認め合っている
→具体例:メモを取ることが苦手だったけど、相談して解決できた。
- ・相談する力が身につく
- ・協力する姿勢や積極性が高まる

さらに問うと...それぞれから具体的なエピソードが語られていく

➡ 学校教育目標に基づいた実践がなされ、カスタマー評価も一致している！

横浜わかば学園のこれまでの取組と成果(2013-2022)

- ①本人参画による**キャリアデザイン**の活用と実践
→CG、CC、ポートフォリオを含むキャリアデザインの開発と試行
- ②**地域協働活動**等の推進によるキャリア発達支援の具現化
→多様な地域リソースを活用した豊かで手応えのあるインターンシップ
- ③**「ふり返り」と「対話」**を大切にされたキャリア発達支援
→「キャリアデザイン相談会」をととした折れない心と相談力の育成
- ④部門を越えた**「学び合い」**によるキャリア発達支援
→「コロパパン」の一連の取組、学習上又は生活上の困難を越えた相互作用
- ⑤各教科におけるキャリア発達支援と**主体的・対話的で深い学び**の実践
→「思考・判断・表現」を引き出す「知識・技能」の活用場面を意図した教科指導
- ⑥キャリア発達支援を土台とした**カリキュラム・マネジメント**
→生徒の「思考・判断・表現」を引き出す活用場面を意図した教科指導の充実
- ⑦**「個別最適な学び」と「協働的な学び」**の一体化に向けた**ICT活用**
→iPadやロイロノートの活用による「学びの可能性」の拡大

地域協働活動と公開研でのポスター発表



A・B部門の協働による「コラボパン」



5/24 コラボパン集会

調理



国語「雨ニモマケズ」

雨ニモマケズ を読んで

No.

(A)グループ 組 番

(A)グループ 組 番 名前

なりたい自分の姿 現在できていないこと

なりたい自分の姿 現在できていないこと

メンタルの弱さにもまげず
嫌味や悪口にもまげず
またみつかっていない自分ができるときをみつけて
みんなと楽しくすごせる人に
わたしはなりたい

自分のあまえにまげず
やりたくない気持ちにもまげず
何事もプラスに考えて
助けられる、役に立つ人に
わたしはなりたい

前提として否定せずに共感し、肯定的に捉える姿勢と、安心して対話できる関係がある

国語「好きなことばと選んだ理由」

有言実行 無我夢中 東方不敗 一人前 有りがとう 全知全能 十人十色

好きなことばと選んだ理由

有言実行は、約束を守ることです。約束を守ると、信頼されます。約束を守らないと、信頼されません。約束を守ることが、大切なことです。

美術「3年間を振り返って」

忘れてしまいトラブルとなった4つのエピソード(友達、学校、家庭、実習先)を表す。感情をコントロールできるようになり、過去の自分を振り返り、他者と向き合えるように。

美術「一文字で表現しよう」



生徒曰く、「将来に向かって道が続いている。乗り越えなければならない山もあれば、一度立ち止まったり、気をつけて進んだりすることもある」ということを信号で表現している。

美術「判じ絵で表現しよう」



江戸時代に流行った「判じ絵」を用いて美術と歴史と国語を融合。さて、生徒は何を表したでしょうか？ →ポイントは体重計の表示と「手」に「」

ホームルーム活動「私の1枚」



「私の1枚」として
生徒が選んだ写真

キャリア発達の相互作用

- ・地域の清掃のプロに学び、憧れる
→清掃のプロは改めて育てる喜びと職業人としての自負をもつように
- ・身につけたスキルを路線バス清掃で発揮
→生徒はバスでの自身のマナーについて再考するように
→バス会社の職員は自らの職務の有り様を問い直すように

清掃サービスで求められるスキルが高く、くじけてしまい、作業学習に行けなくなった頃の自分

「いまはそんなことないけど」と言う本人は「誰かのために役に立つ喜び」を感じられるようになり、一般就労が決定

横浜わかば学園のこれまでの公開研から

第1回公開研(2016)の講演内容

- ・キャリア教育・キャリア教育について
- ・キャリア教育の能力観Competency
- ・「自己肯定感」「自己有用感」「自尊感情」、肯定的な自己理解の必要性
- ・「対話」と「問い」、言語活動の充実
- ・共生社会の形成に向けた地域協働活動と交流及び共同学習
- ・中教審論点整理への対応「アクティブラーニング」「育成すべき資質・能力」
- ・生徒の学びの必然性とカリキュラム・マネジメント

2023.2.4 公開研で改めて送りたいエール

引き続き上から目線ではなく、生徒の思いの理解に努め、対話をとおして共感し支えることのできる「しなやかさ」を磨き合うとともに、ロールモデルとしての自身の有り様をふり返り、互いに意識化を！

第5回公開研(2020)の講演での提言

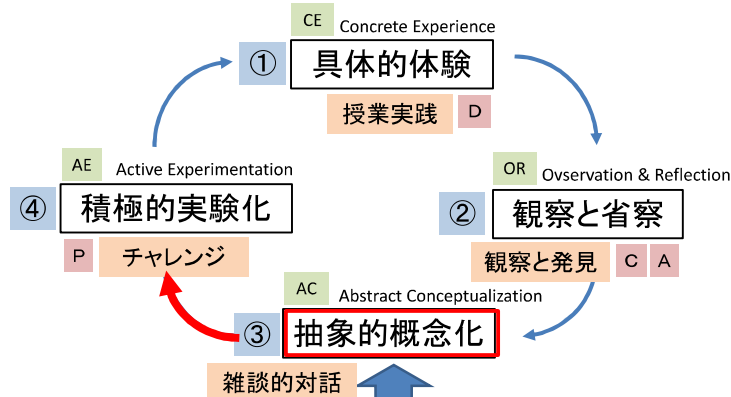
引き続き大切にしてほしいこと

- ・生徒の「思い」を大切にすること
- ・「体験」や「思い」を生徒自身が「意味付け」するための対話

これからのわかば学園に求めたいこと

- ①シラバスの充実と生徒による活用
- ②各教科の目標・内容を踏まえた学びの「高まり」と「広がり」の可能性の追求
- ③生涯にわたって学び続ける「学びに向かう力」の育成とその検証

参考: 経験学習モデルとPDCAサイクル (Kolb, 1984)



※他にもマネジメントサイクルには、AAR、RPDCA、CAPD、PDR等、OODAループ等のモデルがある

経験を振り返り、学んだことを抽象化・概念化する
→例「○○」という考え方は「△△」においても活かせる!

協働により「暗黙知」を形式知に

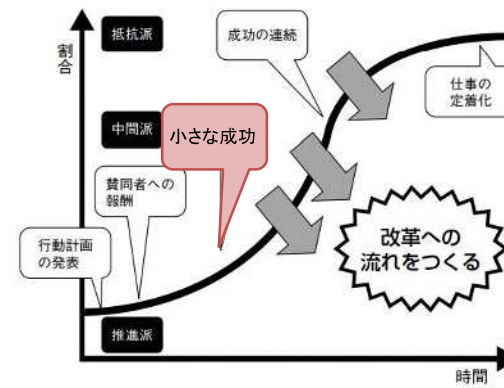
David A. Kolb, *Experiential Learning*, New York: Prentice-Hall, 1984

佐藤善信 (2011) 経営学の理論は現場で役に立つのか。ビジネス&アカウンティングレビュー7, pp1-18.

-18-

改革への流れ

(堀, 2006)



「小さな成功」がターニングポイントに?

国立特殊教育総合研究所 (2006) 特別支援教育コーディネーターに関する実際の研究 研究報告書。

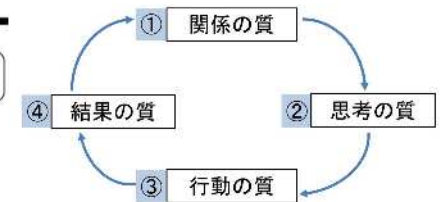
Daniel H. Kim, "What Is Organization's Core Theory of Success?" in his *Organizing for Learning: Strategies for Knowledge Creation and Enduring Change*, Pegasus Communications pp.69-84.

佐藤善信 (2011) 経営学の理論は現場で役に立つのか。ビジネス&アカウンティングレビュー7, pp1-18.

-19-

成功のコア・セオリー

(Kim, 2001)



以下の「悪循環」のサイクルからいかに脱却するか

- ① 対立、押しつけや命令
- ② 面白さや魅力の欠如、受け身の姿勢
- ③ 自発性や積極性の低下
- ④ 成果が上がらない
- ① 関係の悪化

OECDが掲げるLearning CompassにおけるAgencyとキャリア発達

OECDが掲げるLearning CompassとAgency

知識、スキル、態度・価値といったCompetencyが一体化して絡み合い、さらに「より良い未来の創造に向けた変革を起こす力」*1を育成するために、「AARサイクル」を回しながら、個人のみならず社会の「ウェルビーイング」(健やかさ・健康度)を目指して学んでいくことが必要であるとし、その原動力をAgencyとしている。

- * 1 ① 新たな価値を創造する力 ② 対立やジレンマに折り合いをつける力 ③ 責任ある行動をとる力
* 2 見通し (anticipation) ・行動 (action) ・振り返り (reflection)

文部科学省による「エージェンシー」の説明

「自ら考え、主体的に行動して、
責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲」

※これからの教育が目指す先には
「未来」「社会」の変革がある

中央教育審議会による「キャリア教育」の定義

「一人一人の社会的・職業的自立に向けて、
必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育」

中央教育審議会による「キャリア発達」の定義

「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」

-20-

AgencyとCareerの定義とその関係から必要と考えたこと

- ・主体は学び手である児童生徒一人一人という認識
- ・Teaching (教える) から 多様性を踏まえたLearning (学ぶ) への転換
- ・Contents Based Curriculum から Competency Based Curriculum への転換
- ・一人一人の 自己実現 + 社会参加・社会参画・(社会変革)意識 の醸成
- ・様々な「役割」をとおした 見方・考え方の広がり・深まり への着目
- ・生徒にとっての 「なぜ・なんのため」を踏まえたSkillsとMind 双方の重視
- ・方法としての個人思考・個人作業から 集団思考・集団作業 への転換
- ・多様な他者との 協働 や 求めに応じていく経験 の拡大
- ・省察をとおした 「思い」や「願い」の表出 (言語化や文字化) と共有
- ・振り返りにおける対話をとおした 共感と相違から高め合う 姿勢の育成
- ・ Responsibility (責任) = 「繰り返し相手の求めに応じて」ということの意味の理解
- ・何かを為して 「認められ」「役に立つ」経験 の蓄積

-21-

2 いまの学びと将来を対話でつなぐ キャリア・パスポートの可能性

これまでのキャリア発達支援の取組の成果を再確認し、いまの実践の充実を図る

-22-

キャリア教育の推進による3つの成果

特別支援学校高等部学習指導要領に「キャリア教育の推進」が明示されてから約10年・・・

①「地域協働活動」の推進と充実

①地域におけるリアルな学び

→学校内完結に留まらない社会に開かれた教育活動

②資質・能力の育成

②「育てたい力」に基づいた授業及び教育課程改善

→4領域8能力、基礎的・汎用的能力、知的障害のある児童生徒の
キャリアプランニング・マトリックスの活用等

③見方・考え方の広がりと内面の育ち

③「キャリア発達」の理解と「内面の育ち」への注目

→振り返りと言語化、対話の重視、本人の「思い」や「願い」への着目

これらの成果は新学習指導要領で示された「社会に開かれた教育課程」
「育成を目指す資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・
マネジメント」の4つのキーワードに通ずる

社会に開かれた教育課程 育成を目指す資質・能力 主体的・対話的で深い学び カリキュラム・マネジメント

キャリア教育の推進

-23-

生徒たちの「キャリア発達」について考える

Beforeとしての例

- ・初めて経験する場面で、何らかの理由を挙げ向き合うことが難しい生徒
- ・いつも斜に構え「やったって意味がない」という生徒
- ・失敗すると何もかも投げ出してしまふ生徒
- ・学ぶことに意欲がもてず、活動に取り組まない生徒
- ・自分のことしか頭になく、いつも周囲とトラブルを起こしている生徒



←環境整備や関係性、
支援やかかわりの工夫

Afterとしてどうなっていきたいのか？

- ・本人の「思い」について考える → 「どうしたい・どうなりたい」
- ・できそうな段階、手立てについて考える → 「どうしたら何ができる」

→ 行動・言動の背景にある本人なりの「思い」の理解・支援に努めたい。

-24-

キャリア発達や「深い学び」につながる実践のポイント

- 「なぜ」「なんのため」かが明確
- 「できる・わかる」ための手立ての工夫、「できること」を活かす工夫
- 「やりたい」→「できてうれしい」→「認められてうれしい」
→「人の役に立ってうれしい」につなげる支援の工夫
- 「振り返り」と「言語化」「対話」の充実
- やっていることに対する「他者からの価値付け」
- 「教えられる側」から「教える側」へ、
「支援を受ける側」から「支援をする側」への転換
- あこがれる存在との出会い
- 目標をもち、チャレンジする経験
- 緊張感やつまずきとそれを乗り越える経験
- 他者からの価値付けや本人にとってわかりやすい評価
- 年齢、障がい、場や環境など、相違から価値を生み出す
Win-Winの関係構築

今後のキャリア・パスポートを用いた対話の充実を期待！



-25-

生徒たちは様々な「思い」を抱えて日々学んでいる

「できた」「分かった」という思い

「できなかった」「分からなかった」という思い

「がんばった」「がんばれなかった」という思い

「もっとやりたい」という思い

「やりたくない」という思い

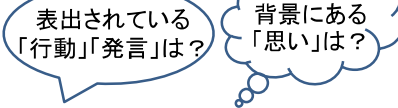
「こうすればよかった」という思い

「こうすればうまくいく」という思い

これから「活かそう」という思い

これから「したい」という思い

「どうしてよいか分からない」という思い...等々



知的障害や発達障害のある生徒たち、特に青年期の生徒たちにとっては、「これまで」を踏まえた様々な「思い」や将来に向けた様々な「思い」があることに留意する必要がある。

学びの主体である生徒の身に立って考えることは、簡単ではないが**大事な**こと

特別支援学校高等部学習指導要領 第1章 総則 第2節 第5款 生徒の調和的な発達の支援

自己の学ぶことと将来をつなぐ「対話」を重視!

1 生徒の調和的な発達を支える指導の充実

ホームルーム経営 よりよい人間関係を育み、発達を支援すること

(1) 学習や生活の基盤として、**教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃からホームルーム経営の充実を図ること**。また、主に集団の場面で必要な指導や援助を行う**ガイダンス**と、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う**カウンセリング**の双方により、生徒の発達を支援すること。

生徒指導 自己実現のために学習活動と関連付けること

(2) 生徒が、**自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、生徒理解を深め、学習活動と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること**。

キャリア教育 いまの学びと将来をつなぎ、資質・能力を育成すること

(3) 生徒が、**学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること**。その中で、生徒が**自己の在り方生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと**。その際、家庭及び地域や福祉、労働等の業務を行う関係機関との連携を十分に図ること。

※朱書き、下線は筆者による。なぜ・なんのため学ぶのか そのためにはどんな力(支援)が必要か いま何をすべきか -27-

いまの学びと将来をつなぐための「対話」の必要性

特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月)
第6章 自立活動 第3款 個別の指導計画の作成と内容の取扱い

2 個別の指導計画の作成に当たっては、次の事項に留意するものとする。

(3) 具体的な指導内容を設定する際には、以下の点を考慮すること。

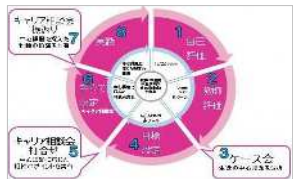
ア 生徒が、**興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えることができるような指導内容**を取り上げること。

オ 個々の生徒に対し、**自己選択・自己決定する機会**を設けることによって、**思考・判断・表現する力を高める**ことができるような指導内容を取り上げること。

カ 個々の生徒が、自立活動における**学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるような指導内容**を取り上げること。

まさに自立活動は本人にとっての必要性が不可欠 ※朱書き、下線は筆者による

「じぶんMAPシステム」横浜市立日野中央高等特別支援学校/自立へのNEWステージアップ表「ステカ」千葉県立特別支援学校流山高等学園



チェックリストの活用と対話による振り返り



ルーブリックを活用した可視化による自己理解の促進

目標を捉え直す7つの視点

目標を立てること自体が目的化していて、目標設定疲れしてはいないか?

- ①授業の目標は**明確で具体的**なものか?
- ②その目標は児童生徒にとって**必要性**のあるものか?
- ③その目標は児童生徒**本人が意識**できるものか?
- ④その目標を**達成するための方法**は何か? 適切か?
- ⑤その目標の**評価は誰がどのように**行うのか?
- ⑥その目標は**単元全体**の中でどのような**位置付け**か?
- ⑦その目標は他の教科等とどのように**関連付く**のか?

「教える」=「学ぶ」とはいえない難しさ。実際に児童生徒が何を学んだか確認が必要

「なぜ・なんのために」省察(振り返り)をするのか

- ①自身の「よさ」や「学び」「育ち」に気づけるようにするため
- ②いまや将来において**大事なこと**に気づけるようにするため
- ③「**なりたい**」「**ありたい**」自己像に気づけるようにするため
- ④「**なりたい**」「**ありたい**」自己像の**実現に向けて必要な内容や方法、他者に求める援助の必要性等**に気づけるようにするため
- ⑤「**いまの学び**」の**大切さ**に気づけるようにするため

これまで得られにくかった「土台」作りへの支援の必要性



「教え込み」や「否定」ではない、「気づき」を促す**過程**が重要

そのための**援助過程**が「**対話**」であるが、学習上又は生活上の困難のある児童生徒に対してどのように**環境**を整えるかが大事

キャリアパスポートの可能性 ICT活用の可能性 → 可視化・具体化・共有化・段階化

-30-

実践におけるPoint 1 生徒を主語とした学びのつながりを構想し、生徒の「自己化」を図る！

学びをつなぐ4つの“C”

—個別の諸計画やキャリア・パスポートの活用による対話をとおした「キャリア発達」「深い学び」—

児童生徒の「**学びの文脈**」の明確化と意識化を図る！

① Container (コンテナ)

→「容器」「入れ物」...「どの指導の形態や教科等で学ぶか」

② Contents (コンテンツ)

→「中身」「内容」...「具体的に何を学ぶか」

③ Context (コンテキスト)

→必然性を踏まえた「**文脈**」「**状況**」...「**なぜ・なんのために学ぶか**」、「**学んだことが何につながるか**」「**どんな力がつくか**」等

資質・能力

④ Competency (コンピテンシー)



組織的・体系的、分析的・総括的な学習評価の実施及び活用
3つの“C”を踏まえた「**カリキュラム・マネジメント**」の必要性

-31-

実践におけるPoint 2 よりよい指導・支援は多面的・多角的な生徒理解から始まる！

授業を相互に見合い、語り合う重要性

—キャリア発達や主体的・対話的で深い学びの視点をふまえた授業改善に向けて—

※授業をよりよいものにしていくためには、①授業を相互に見合い、②日々の雑談レベルで子供の姿を語り合い、③改善を積み重ねていくことが重要

- ・授業において児童生徒は何に**目を向けている**のか
- ・授業において児童生徒は何に**耳を傾けている**のか
- ・授業において児童生徒は何に**注意を向けている**のか
- ・授業において児童生徒は何を**思い、考えている**のか

児童生徒の学びの姿を捉える教師の「**見方**」を鍛える！



事実としての「**発言**」等は？

背景にある「**思い**」は？

「捉えにくいもの」ほど、児童生徒に対して「**問う**」ことや、複数の教職員の目で**多面的・多角的に捉えていく**ことが必要

-32-

実践におけるPoint 2 生徒理解の引き出しを増やすための学び合い・語り合いが肝要！

「学びあいの場」のアプローチ(竹村・柳川, 2019)

学ぼうとしている子供が何に気づき、どのように考えたのかを教師が気付くために、ひたすら子供の視点に立ち、子供の学びを観ようとする授業研究の取組。

見方の幅を広げ、コンパクトに実施できる新たな授業研究法！

① ラベルコミュニケーション

「**言語ラベル**」

→参観者は、**子供のつぶやき、動き、視線、かかわりなどの事実**をそのまま記入する。

「**解釈ラベル**」

→参観者は、なぜ子供がそうしたのかという、そのときの**子供の思いや考えを推察した解釈**を記入する。

② アクティブ・リスニング

→記入したラベルを基に3~4人の小集団で聴き合いを行い、次に授業者と参加者全員で聴き合いを行う。

事実としての「**行動**」「**発言**」は？

背景にある「**思い**」は？

竹村哲監修 柳川公三子編集(2019)実践！特別支援教育のアクティブ・ラーニング 子どもの内面を捉え、学びの課程に寄り添う教員研修.中央法規出版. より

-33-

実践におけるPoint 2 生徒理解の引き出しを増やすための学び合い・語り合いが肝要！

「学びあいの場」のアプローチ(竹村・柳川, 2019)

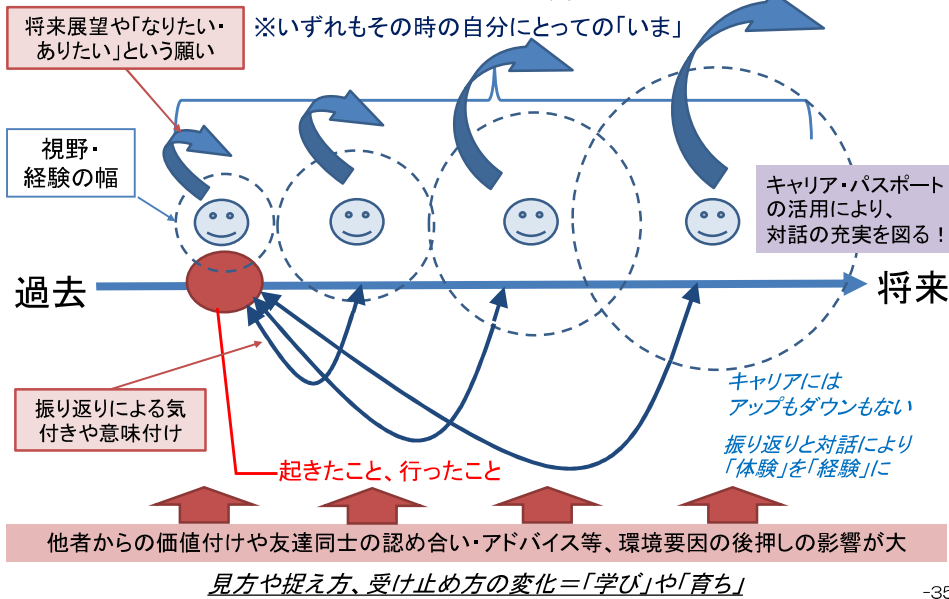
事例: 小学部2, 3年グループ 算数「とけいをよもう」
M児がアナログの模擬時計の針を4時30分に合わせる場面
→長針を右回りに回転させ、1周して短針が4時30分を過ぎ、2周目は3時30分あたりからゆっくり回し、4時30分過ぎで長針を戻した。
3周目は、4時過ぎに短針が4を過ぎると手で短針を4に合わせ、押さえた。
その後、4時30分で針を動かす手を止めた。

言動ラベル	「M児は長針を2周回し4時30分にしてから長針を反対に回した」	「M児は長針を回し1周目は4時を過ぎたあたりでゆっくりとなり、2周目は3時半近くで手を止めそうになっていた。」	「M児は長針を2周回し4時30分近くで短針を戻そうとした」	「M児は長針を2周回して4時30分に時刻を合わせた」
	解釈ラベル	「M児は短針を数字に合わせようとしているのではないか」「長針を戻すことで短針も同様に戻る方向に動くと考えているのではないか」	「M児は長針が回る時、短針も少しずつ回ることにより気づき、動かないように止めようとしたのではないか」	「M児は0時30分のとき、短針は0時をぴったり指すと思っているのではないか」

※多面的・多角的な見方を聴き合うことで、**子供の「学びの過程」の見方を磨く**

実践におけるPoint 3 サイクルを踏まえた「ふり返り」と「対話」がキャリア発達を促す！

「省察(過程を振り返り言語化、対話する)」による学びと育ち(菊地, 2020を改変)



実践におけるPoint 3 個別の諸計画では迫りきれなかったことを解決する教材が「CP」!

「対話」とおして学びをつなぐキャリア・パスポート

キャリア・パスポートの目的

児童生徒: 小学校から高等学校を通じて、**自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして自己評価**を行うこと、**主体的に学びに向かう力**を育み、**自己実現**につながるもの。

教師: その記述をもとに**対話的にかかわる**ことによって、児童生徒の**成長を促し、系統的な指導**に資するもの。

障害のある生徒こそ、活用できるポートフォリオが必要では？



学びをつなぐ「願いシート」と「目標シート」(石羽根・菊地, 2021)

実践研究から見てきた目標設定と振り返りのポイント
→「可視化」「具体化」「共有化」「段階化」+ICT活用

「キャリアデザイン相談会」横浜国立大学特別支援学校



実践におけるPoint 3 キャリア・パスポートの活用によりキャリア発達の相互作用を促進!

キャリア・パスポートの作成と活用のポイント(菊地, 2022)

- ①対話の促進に向けた「可視化」「具体化」「共有化」「段階化」を踏まえたツールの開発と活用
- ②対話を支えるICT機器の効果的活用
- ③対話のサイクルとカリキュラム・マネジメント
- ④対話における教師の力量形成のための学び合い



対話チャートによる学び合い(石羽根, 2020)



TEM図(サトウら, 2006)の活用

「言語化・対話」について再考する

①会話と対話の違い

→相手の「思い」「考え」に応じ、**理解しようとする**ことが前提となる？「聴く」「伝える」こと双方を大切にする。**言語活動を質的に見る**必要がある？

②自己内(で起きている)対話(「思い」や「願い」)への着目

→他者を含む外界からの刺激に対して起こる疑問、共感、推察、確信等の**自己内対話**

③刺激の1つとしての「問い」の重要性

→「できたかどうか」から**「なぜ・なんのため」「どうして」「どうしたい」**を考える
→距離を置いて**「見る」**ことや**「立場(役割)を変える」**ことで気づけることも

④心が動く豊かな体験と「振り返り」

→「できた」「認められた」「人の役に立った」**豊かな体験**とその**振り返り**
→相手の求めに応じる、共同解決する、つまずきが解決される等

⑤対話を促進させ、課題解決につなげる具体的方策

→環境設定や構造化、可視化、ツール、サイズ、時間や回数等の指導計画、
→ファシリテーションスキルへの着目、リーダーとフォロワーの関係

生徒を主語とした3つの「つながり」の意識化を！

「これまで」と「いま」と「これから」を踏まえて

今後意識していきたいkeywords
→「可視化」「具体化」「共有化」
そして「個人思考」から「**集団思考**」へ

①各教科等内のつながり

→単元内、単元間、年間指導計画内、学年間

②各教科等間のつながり

→指導内容の関連付け、教科等横断的に活かす場面

③各教科等で学んだことを具体的に活かす場面のつながり

→ex)「各教科等を合わせた指導」「現場実習」「行事等」「部活動」「実生活」etc...

カリキュラム・マネジメント

何を使って「つなぐ」のか？→「各教科等の内容」「資質・能力」

対話(キャリア・パスポートの活用)

主体的・対話的で深い学び

生徒にとっては？→「個別の諸計画」への参画+「ポートフォリオ」

これらの実現のためには、お互いの**違いを前提**として、教職員間の「思い」や「アプローチ」の**「重なり」と「異なり」**を意識しつつ、その**価値を認め合う**ことが出発点となる。

カリキュラム・マネジメント

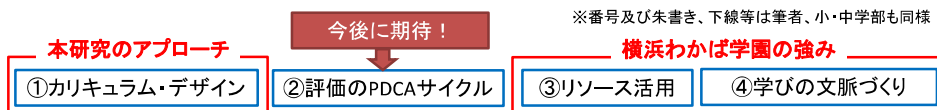
特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月)

第1章 総則 第2節 教育課程の編成第1款 高等部における教育の基本と教育課程の役割

5 各学校においては、①**生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと**、②**教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと**、③**教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと**などを通して、**教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと**(以下、「カリキュラム・マネジメント」という)に努めるものとする。

その際、④**生徒に何が身についたかという学習の成果を的確に捉え、第2款の3の(5)のイに示す個別の指導計画の実施状況の評価と改善を、教育課程の評価と改善につなげていくよう工夫すること**

※番号及び朱書き、下線等は筆者、小・中学部も同様



生徒の育ちを把握し意欲を高め、授業等を改善するための学習評価

評価の前提となる実態把握と目標設定

- ・評価を行う前提として**目標の設定が挙げられ、その前の実態把握が肝要**となる。
- ・指導する**内容**+それを通して**育てたい力**(いわゆる観点)=教師側が設定する「**目標**」
- ・「何を教えるのか」と「どのような力を育てるのか」の複数の組み合わせが考えられ、これらが「**評価規準**」となり、さらに実態を踏まえた手立てや期待する程度等を段階的に細かくしたものが「**評価基準**」となる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を高めるための手立てや環境設定、アプローチは異なるはず。
- ・キャリアデザイン等、個のニーズから設定した目標についても、その達成のために、「**何を学ぶのか」「どのような力を身につけるのか**」を検討し、最終的には生徒による「**自己化**」を図っていくことが大事
→**この対話のプロセスが重要(あらゆる場面で「対話」を大切にできたわがば学園の強み!)**

児童生徒本人の実態と目標の間で影響するもの

- ・取り扱う各教科等の内容そのもの/場面設定や文脈・背景・必然性/教材・教具等/具体的かつ実際の学習活動/学習集団としての仲間・先輩・後輩との関係/共感し解決の支えとなる教師との関係/安心して過ごせる学級・学校等
→つまりこれらが媒介となり、**環境との相互作用**によって学習の結果につながる

キャリア発達支援(「深い学び」や「カリマネ」)の
充実を図るうえで参考にさせていただきたい10冊



NEW!

第1特集: キャリア・パスポート
第2特集: 対話を大切にしたい取組・実践

全日本特別支援教育研究連盟機関誌「特別支援教育研究」



特集企画の他、常設欄に特別支援学級、通級による指導等での実践例、基礎・基本の内容を連載

「生徒のキャリアデザインを生かした 主体的で対話的な深い学びを 目指した授業づくり」

～わかば学園らしい社会に開かれた教育課程の編成へ～

横浜市立若葉台特別支援学校(横浜わかば学園) B部門(知的障害教育部門) 学習研究部 村田 千絵



(1) 令和4年度の研究目的 **今年度のミッション**

「昨年度の取組を
根付かせる！！」



生徒のキャリアデザインを ①**より 生かして**、
継続して、「教科等を横断したカリキュラム・マネジメント」を進める
その中で特に生徒が
「主体的で対話的な深い学び」を実現できる授業づくりを
②**教員が 探究していく**

→生徒と一緒に「わかば学園らしい社会に開かれた教育課程」の編成を
“さらに一歩” 進める！！

(2) 令和4年度 研究方法



(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Plan】 ミッションをクリアするために...

①生徒のアンケート等の形式を変更⇒「**目標達成シート**」へ



光村図書 道徳5
きみがいちばんひかるとき
「夢を実現するためには」
より

(3) 令和4年度の研究 具体的な取組【Plan】 **ミッションをクリアするために...**

①生徒のアンケート等の形式を変更⇒「**目標達成シート**」へ

あの大谷翔平選手も高校時代に書いていた!!

目標達成シート (わかば学園の授業に関するアンケート) 1年 組 名前

①自分のキャリアデザイン(夢や目標)を達成するために、わかば学園のどの授業で(表の下から授業を選んで) ②何を学びたいですか、また ③どのように学びたいですか、考えていることや思っていることをそのまま書いてください。

生徒のみなさんの思いを大切に、みなさんが自ら学んでいけるような授業づくりをしていきたいと考えています。ご協力お願いします!

①何ができるようになりたい?	②何を学びたいか?	③どのように学びたいか?

【1年生 教科の授業】 国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、職業基礎、校内実習、道徳

①何ができるようになりたい?

→変更: **中心の枠**に記入

キャリアデザインシートを参考にしなが、自由に夢や目標を書く

②何を学びたいか?

③どのように学びたいか?

→変更: 教科名は

生徒が自由に記入

自分の夢や目標の実現に向けて学びたい内容と方法を書く

(3) 令和4年度の研究 具体的な取組【Plan】 **ミッションをクリアするために...**

①生徒が書いた目標達成シートへ
授業担当から **ロイロノート**を用いて、コメントを入力

目標達成シートを読んだ感想



- ◎文字で書かせるのも良い発見がある。よく書けると感じた。
- ◎生徒一人ひとりが授業に何を求めているのか、思いを把握できてよかった。授業改善に生きていると思う。
- ◎いつも寝ている生徒もそのままじゃダメなんだと感じているようだ。生徒の学習意欲をそがないように、書かれた内容はなるべく実現したい。
- ◎授業に対する期待が大きいので、応えられるようにしたい。
- ◎やりたいこと、できるようになりたいことは授業の中でできる。

△書いたものが抽象的。具体的なコメントを引き出す手立てが必要。授業でやってみたいことを具体的に聞いてみたい。

△キャリアデザインの達成と教科学習のつながりにピンときていない。アンケートの記入だけでは難しい。もっと自分の授業で学習の意味を伝え続けていかなくてはならないと感じた。

1年生

目標達成シート

あの大谷翔平選手も高校時代に書いていた!!

目標達成シート (わかば学園の授業に関するアンケート) 1年

①自分のキャリアデザイン(夢や目標)を達成するために、わかば学園のどの授業で(表の下から授業を選んで) ②何を学びたいですか、また ③どのように学びたいですか、考えていることや思っていることをそのまま書いてください。

世界音楽について学びましたね! 音楽科が自ら学んでいけるような授業づくりをしていきたいと考えています。ご協力お願いします!

①音楽では、自分の知っている歌だけでなく、いろいろな国の歌など、歌の歌詞の意味や音楽が持つさまざまな文化について学びたいです。

②音楽科では、音楽の歴史や音楽のしくみについて学びたいです。

③音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

④音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑤音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑥音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑦音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑧音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑨音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑩音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑪音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑫音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑬音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑭音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑮音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑯音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑰音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑱音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑲音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑳音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

【1年生 教科の授業】 国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、職業基礎、校内実習、道徳

2年生

目標達成シート

あの大谷翔平選手も高校時代に書いていた!!

目標達成シート (わかば学園の授業に関するアンケート) 2年

①自分のキャリアデザイン(夢や目標)を達成するために、わかば学園のどの授業で(表の下から授業を選んで) ②何を学びたいですか、また ③どのように学びたいですか、考えていることや思っていることをそのまま書いてください。

指示を出せる人をつける、時間のかかる人をつける、得意なことをやるように分けるなど考えよう。校内実習

①自分のキャリアデザイン(夢や目標)を達成するために、わかば学園のどの授業で(表の下から授業を選んで) ②何を学びたいですか、また ③どのように学びたいですか、考えていることや思っていることをそのまま書いてください。

④音楽科では、自分の知っている歌だけでなく、いろいろな国の歌など、歌の歌詞の意味や音楽が持つさまざまな文化について学びたいです。

⑤音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑥音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑦音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑧音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑨音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑩音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑪音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑫音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑬音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑭音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑮音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑯音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑰音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑱音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑲音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

⑳音楽科の授業で、楽器の演奏や作曲について学びたいです。

【2年生 教科の授業】 国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、職業基礎、校内実習、道徳

3年生

目標達成シート

あの大河翔平選手も高校時代に書いていた！

目標達成シート (わかば学園の授業に関するアンケート) 3年

①自分のキャリアデザイン(夢や目標)を達成するために、わかば学園のどの授業で(表の下から授業を選んで) ②何を学びたいですか、また ③どのように学びたいですか。考えていることや思っていることをそのまま書いてください。

・下半身と体幹を鍛えよう！
・積極的発表と積極的発表を使い分けて！
・目標達成シートを記入して！

自分が自ら学んでいけるような授業づくりをしたいと思います。ご協力をお願いします！

<p><保健体育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋力を上げて体の動きを速くしたい ・体が柔らかい状態を維持したい ・体の動きを速くしたい ・体の動きを速くしたい 	<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書の楽しさを伝える ・読書の楽しさを伝える ・読書の楽しさを伝える 	<p><音楽></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で歌いたい ・大きな声で歌いたい ・大きな声で歌いたい
<p><社会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の中のことをよく理解したい ・世の中のことをよく理解したい ・世の中のことをよく理解したい 	<p>①聞かせるようにしたい？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に意見を述べたい ・積極的に意見を述べたい ・積極的に意見を述べたい 	<p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験の楽しさを伝える ・実験の楽しさを伝える ・実験の楽しさを伝える
<p><美術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の楽しさを伝える ・絵の楽しさを伝える ・絵の楽しさを伝える 	<p><家庭科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理の楽しさを伝える ・料理の楽しさを伝える ・料理の楽しさを伝える 	<p><英語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の楽しさを伝える ・英語の楽しさを伝える ・英語の楽しさを伝える

【3年生 教科の授業】 国語、社会、家庭科、英語、音楽、理科、体育、保健体育

(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Plan】 成果1

①生徒のアンケート等の形式を変更⇒「目標達成シート」へ

①生徒が書いた目標達成シートへ
授業担当から ロイロノートを用いて、コメントを入力

対話

・書き出して可視化することで、自分の思いや「なぜ・何のために」学ぶのか、再確認できた。
・自分の思いを各教科の先生に受け止めてもらい、自己肯定感が高まる。
⇒「学びに向かう力」の向上へ

・生徒の思いを受けて、各生徒に共感的なメッセージを伝えたり、必要に応じてアドバイスしたりすることができ、より適切なフィードバックができた。
⇒年間指導計画の見直し、授業改善へ

★生徒のキャリアデザインを ①より 生かした、「横浜わかば学園のカリキュラム・マネジメント」のベースができた

(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Do】 ミッションをクリアするために...

②年次研 研究授業に向けた模擬授業／2学年 研究授業など ⇒生徒の目標達成シートを受けて、授業改善へ

生徒の「学びに向かう力」を高められるようにするためのアイデア

- 【社会】・楽しみながら、積極的に学べる授業
・障害基礎年金等、書類の書き方や見方について体験できるようにする。
 - 【英語】・コミュニケーションが必要な場面を意図的に設定し、英語を話す機会を積極的に行う。
 - 【音楽】・広く触れる。・自主練習の時間を設ける。
・生徒の意見を拾いあげながら授業を進める。
・動画をを用いてふり返りを行う。
 - 【体育】・自分と見本の動きをICT機器を用いて比較し、自らその違いに気づいて動きを改善する。
 - 【職業】・校内実習間のコラボを増やす。
・身近な題材を取り上げる。(職業基礎)
- ・「できた」が感じられる授業展開。達成感を感じることでもっと学びたいと考えるのではないか。苦手意識を解消できるのではないか。
- ・本時の目的を明確にしてから授業を始める。この1時間取り組めばどんな力がつくのか、どのようなときに役立つのか、どんな楽しいことがあるのかなど、生徒にとって「やってみよう」気持ちを高める導入を大切にしたい。
- ・答えがあらかじめ決められている内容よりも、教員と生徒と一緒に考えていける授業を作りたい。自分たちで新たに発見していく、作り出していく作業の方が生徒が考え始め、動き始めるのではないか。
- ・生徒が学習に興味をもつ題材を研究する。それに関連した授業を展開する。
- 生徒の「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けて
教員の「授業づくり」に対する意欲が高まった！

(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Do】 ミッションをクリアするために...

②-1 模擬授業:3学年 音楽(合奏)

②-1 模擬授業:3学年 音楽(合奏)

① 楽器の準備
② 楽譜の読み取り
③ 演奏の練習
④ 演奏の発表

① B-C 演奏の準備
② A 演奏の準備
③ B-A 演奏の準備
④ 発表

・生徒の「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けて
教員の「授業づくり」に対する意欲が高まった！

(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Do】 ミッションをクリアするために...

②-2 模擬授業: 1年保健体育(サッカー)



(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Do】 ミッションをクリアするために...

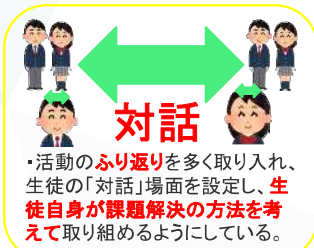
②-3 研究授業: 2学年 特別の教科: 道徳



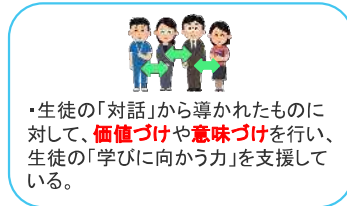
(3) 令和4年度の研究 具体的な取組 【Plan】 成果2

②年次研 研究授業に向けた模擬授業/2学年 研究授業など
⇒生徒の目標達成シートを受けて、授業改善へ

横浜わかば学園の授業



・活動のふり返りを多く取り入れ、生徒の「対話」場面を設定し、生徒自身が課題解決の方法を考えて取り組めるようにしている。



・生徒の「対話」から導かれたものに対して、価値づけや意味づけを行い、生徒の「学びに向かう力」を支援している。

★生徒の「主体的で対話的な深い学び」を実現する授業づくりに対して、
②教員の理解が深まり、探究を進めることができた

(4) まとめ、次年度以降に向けて

横浜わかば学園のカリキュラム・マネジメント

「生徒のキャリアデザイン」を通して、
①生徒は何ができるようになりたいか ②何を学びたいか/学んだか ③どのように学びたい/学んだか
「対話」を活発に行いながら、
「横浜わかば学園らしい社会に開かれた教育課程」の探究を生徒と一緒に続けていく!



メモ

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

公開研究会へのご参加ありがとうございました。

